名城大学要覧
2026

Guide to
Meijo University

立学の精神

穏健中正で実行力に富み、
国家、社会の信頼に値する人材を育成する

穏

平和であたたかく、
穏やかであること。

健

秩序と調和と
確実さをもって、
支障なく、
力強く前進すること。

中

謙虚にものごとの
核心をつかみ、
包容力ある
立場にあること。

正

ものごとに、折り目、
けじめをつけ、
順逆をわきまえて
筋を通すこと。

大学名の由来

戦後の教育改革で昭和22年に学制が改正され、本学園は名古屋専門学校から新制大学へ移行することとなり、大学名を名城大学と決定しました。その経緯は、世間で「尾張名古屋は城でもつ」といわれるように、名古屋城こと名城は名古屋のシンボルであり、光り輝く金のシャチをいただくお城のようにいつまでも輝く大学でありたいとの願いから創立者の田中壽一氏を中心に合議のうえ、名城大学と命名されたと言われています。

（名城大学75年史から抜粋）

名城大学学歌

河合 逸治　作詞　｜　信時 潔　作曲

1 番

朝日に匂う鈴鹿嶺
希望に燃ゆる若人が
学理の泉汲むところ
次代を築く栄えになう
名城・名城自由の学府
おゝ名城

2 番

力と技を競いつつ
正しき理想花と咲く
その意気天を衝くところ
獅子の王座は我にあり
名城・名城自由の学府
おゝ名城

3 番

歴史に尚き名城の
文化の精華享け継ぎて
真理の道を践むところ
健児の行手光あり
名城・名城自由の学府
おゝ名城

※学歌は大学ウェブサイトで聞くことができます。

名城大学ロゴマーク

本学では、入学式・卒業式を始めとする各式典や、大学全体行事、クラブ活動における大会の応援等において、主に次のロゴマークを使用しています。

名城大学

▶ 名城大学（指定文字）

「大学の顔として品格と特徴のある文字をシンボルに」と、1962年に大学協議会で制定。

▶ 校章

新制大学発足時（1949年）から校旗等に採用され、卒業式、入学式等の公式行事に使用。

MEIJO UNIVERSITY

▶ コミュニケーションマーク

開学100周年を機に、2024年の常勤理事会で承認された新ロゴマーク。従来の鯱のモチーフを継承しつつ、よりシンプルかつ象徴的なフォルムへ進化。伝統を重んじながら未来へ躍動する名城大学の姿を表現し、シャチの尾びれに“MEIJO”の頭文字「M」、胴体に「J」を造形し、次の100年への意志を込めたデザイン。2026年1月から活用を開始。

▶ 名城しし丸

▶ 名城しし若丸

開学100周年記念事業の一環として、「獅子」をテーマに大学・附属高校の新マスコットキャラクターを募集。学内外から853点の応募があり、選考委員会による審査を経て5作品を選出。一般投票を経て、名城大学の新マスコットキャラクターとして「名城しし丸」が最優秀賞に決定。
さらに、この結果を受けて、デザイナーの協力のもと、附属高等学校の新マスコットキャラクター「名城しし若丸」も制作。2026年1月から活用を開始。

Contents

立学の精神 …… 1
本学のビジョン …… 3
大学のあゆみ …… 5
組織機構図 …… 6
教員数 …… 8
学生数 …… 9
教育方針 …… 11
教職課程・学芸員課程 …… 13
進路・就職支援体制 …… 14
就職実績 …… 17
国際交流 …… 19
産官学連携 …… 21
教育活動 …… 23
学費・奨学金 …… 25
クラブ活動 …… 28
キャンパスと設備 …… 29
附属図書館 …… 34
愛知県立愛知総合工科高等学校専攻科 …… 35
附属高等学校 …… 36
校友会 …… 37
交通案内 …… 38

本学のビジョン

本法人は、1926年開設の名古屋高等理工科講習所を源流とし、歴史と伝統に輝く中部地区屈指の教育機関として、これまでに22万人を超える卒業生を輩出してまいりました。

また本法人の立学の精神である「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」のもと、「実学」を重視した教育・研究を展開しています。その結果、本学の卒業生について産業界の皆様から、「実務処理能力に秀れており、困難に直面しても屈しない」と高い評価をいただいております。

今日の社会は、グローバル化、少子高齢化、ロボットやAI（人工知能）の台頭、そして産業・就業構造の変容が進んでいます。その結果、これまでの常識が通用せず、将来の予測がますます困難な時代を迎えています。このような時代には、どのような困難に直面してもくじけず、「先見性、多様性、専門性を身に着けた実行力・実現力」のある人材が必要不可欠であります。

名城大学および名城大学附属高等学校は、社会からの期待に応え、新たな時代を担う人材を育成するために、創設以来の歴史と伝統を受け継ぎ、さらなる成長を目指してまいります。今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人名城大学 理事長　小原 章裕（おはら あきひろ）

兵庫県出身。名城大学農学部農芸化学科を卒業後、神戸大学大学院農学研究科修士課程、自然科学研究科博士課程を修了。学術博士。大阪青山短期大学専任講師、兵庫女子短期大学助教授を経て、1998年名城大学農学部農芸化学科助教授に着任。2015年農学部長、大学院農学研究科長、2019年4月から2025年3月まで学長を務め、2025年4月から学校法人名城大学業務執行理事・専務理事。2026年1月に理事長に就任。

学校法人名城大学の基本戦略

MS-26

本学では、2015年度から、開学100周年にあたる2026年を目標年とする戦略プラン「Meijo Strategy-2026」【通称:MS-26】を推進しています。
2026年は、本法人の礎となる「名古屋高等理工科講習所」の開設から100年という節目の年になります。
MS-26に掲げるビジョンは、本学の志であり、学生・生徒が卒業・修了後に本学を卒業・修了して良かったと思える大学・高等学校づくりをめざします。

共有する価値観（VALUE）

生涯学びを楽しむ
Enjoy Learning for Life

「生涯学びを楽しむ」という言葉は、すべての学生・生徒が本学の教育によって「学ぶ楽しさ」に気づき、卒業・修了後も、それぞれの多彩なコミュニティの中で、さまざまな人や文化と出会い、人生を楽しみながら生涯学び続けてほしいという願いを込めました。また、教職員に対しても、「学ぶ楽しさ」「教える楽しさ」「仕事の楽しさ」を実感し、有意義な日々を送ってほしいというメッセージが込められています。

教育機関である私たちの使命は、イノベーションの源泉となる卓越した研究を推進し、社会課題の解決や新たな価値創造に貢献するとともに、その成果に基づいた質の高い教育を提供し、未来を担う人材を育成することにあります。

現代社会は、少子高齢化や地球温暖化、資源の枯渇、国家・民族間の紛争など、さまざまな困難に直面しています。これらの問題の多くは、価値観の変化や、規模と効率性を重視した経済発展の副産物でもあります。豊かさを追求しつつ、これらの諸課題を解決するには、従来の枠にとらわれない創造的なアプローチが不可欠です。このような状況のもと、大学には専門分野の枠を超え、分野横断的な知見を統合的に活用し、多様なバックグラウンドを持つ人々と協働できる能力を持つ人材を育成するための教育機会を提供することが求められています。

2026年、本学の創立者である田中壽一先生が名古屋高等理工科講習所を開設してから100年の節目を迎えます。幾多の困難を乗り越え、この歴史を刻んできた本学は、開学100周年以降のビジョンとして「中部から世界へ、創造型実学の名城大学」を掲げました。創造型実学とは、一言で言えば、課題解決の中心となり、アイディア創出に貢献し、さらにそれを形にする力を養う学問です。本学は、この創造型実学を軸とした教育機会を提供し続けることで、常に未来を志向し、社会に必要とされる総合大学であり続けるため、教職員一同、一丸となって邁進してまいります。

皆様におかれましては、本学の教育・研究活動にご理解とご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

名城大学 学長　野口 光宣（のぐち みつのり）

メソジスト大学（米国）を数学主専攻で卒業後、デューク大学大学院（米国）に進学。数学研究科修士課程、同博士課程を修了し、Ph.D.の学位を取得。エコノメトリック・ソサエティ、数理経済学会等にも幅広く参与。1993年より本学商学部で教鞭をとり、2013年経済学部長、大学院経済学研究科長、2015年から副学長・理事を歴任、2025年4月学長就任。

OUR VISION（2026年までに達成したいあるべき姿）

名城大学　多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「学びのコミュニティ」を創り広げる

名城大学附属高等学校　「多様な経験」を創り出す「挑戦する学校」

OUR MISSION（私たちが果たすべき使命）

名城大学

教育ミッション：主体的に学び続ける「実行力ある教養人」を育てる
研究ミッション：「学問の探究と理論の応用」を通して、成果を教育と社会に還元する
社会貢献ミッション：社会との「人的交流」を通して、地域の活性化に貢献する

名城大学附属高等学校

教育ミッション：「主体的に学ぶ力」と「突破力」を備えた生徒を育成する
社会貢献ミッション：「人的交流」や「学習活動」を通して、社会的責任を果たす

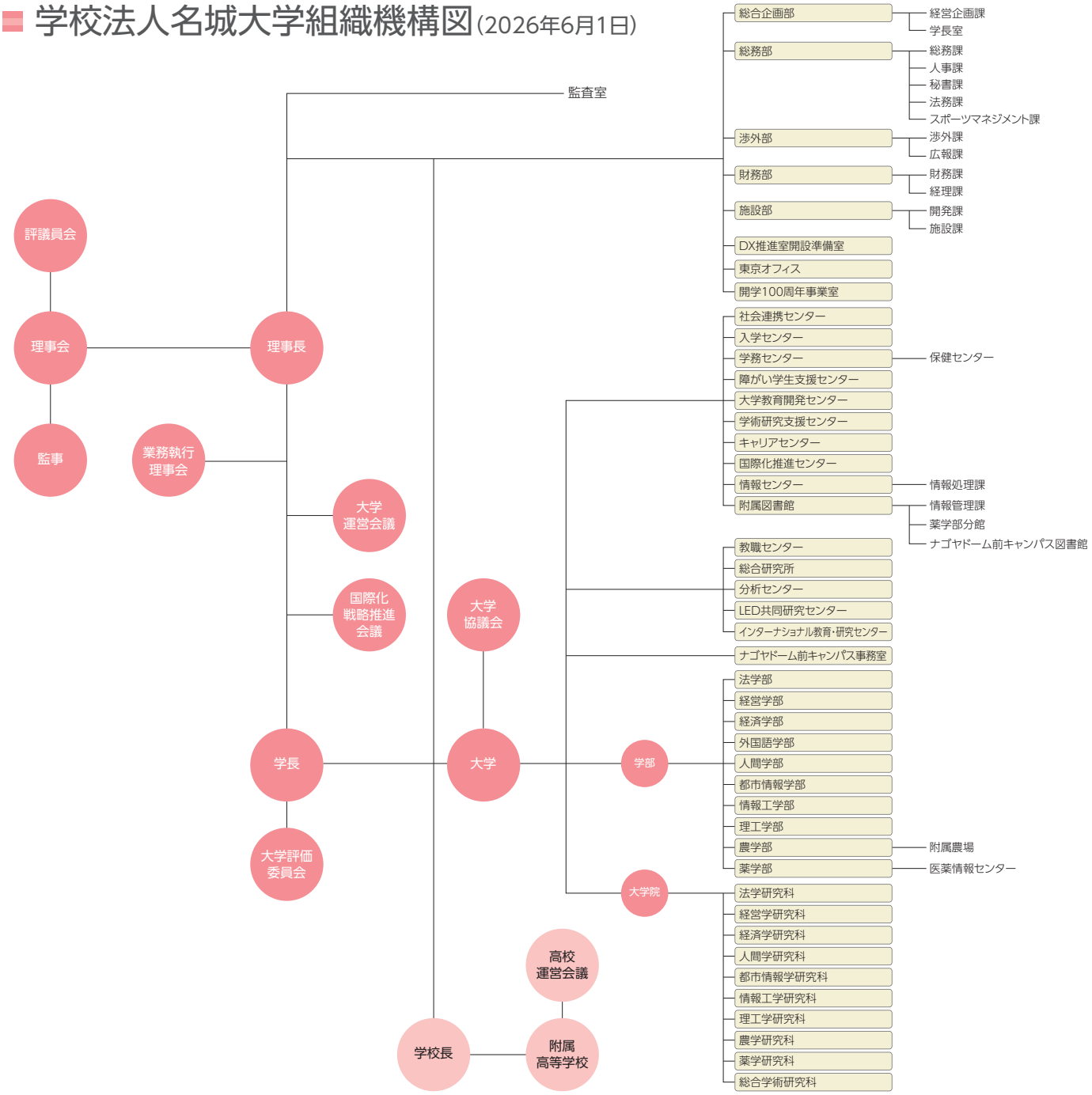
大学のあゆみ

沿革

1926	大正15年	5月	田中壽一氏により名古屋高等理工科講習所開設
1928	昭和 3年	4月	名古屋高等理工科学校開校
1946	21年	10月	財団法人名古屋高等理工科学園設立
1947	22年	9月	名古屋専門学校設置
1949	24年	4月	名城大学開学
			商学部第一部・第二部設置
1950	25年	4月	法商学部第一部法学科・商学科、同第二部法学科・商学科増設
			理工学部第一部数学科・電気工学科・機械工学科・建設工学科、同第二部数学科・電気工学科・機械工学科・建設工学科増設
			農学部農学科増設
			商学部、商学部二部廃止
			短期大学部併設、商経科第一部・第二部設置
1951	26年	3月	組織変更により学校法人名城大学設立
		4月	教職課程部設置
1954	29年	4月	薬学部薬学科増設
			短期大学部電気科第一部・機械科第一部増設
			大学院商学研究科商学専攻修士課程設置
1965	40年	4月	理工学部第一部交通機械学科増設
			薬学部製薬学科増設
		12月	本部および法商学部第一部、大学院商学研究科、短期大学部商経科第一部が駒方校地から天白校地に移転
1966	41年	4月	大学院薬学研究科薬学専攻修士課程増設
1967	42年	4月	法学部一部法学科、同二部法学科設置
			商学部一部商学科、同二部商学科設置
			大学院法学研究科法律学専攻修士課程増設
			理工学部一部電気工学科・機械工学科・交通機械学科が中村校地から天白校地に移転
1968	43年	4月	理工学部一部数学科・建設工学科が中村校地から天白校地に移転
		12月	農学部が鷹来校地から天白校地に移転
1969	44年	3月	短期大学部電気科第一部・機械科第一部廃止
		4月	大学院法学研究科法律学専攻博士後期課程増設
1971	46年	4月	大学院薬学研究科薬学専攻博士後期課程増設
1972	47年	4月	農学部農芸化学科増設
1973	48年	4月	理工学部一部土木工学科・建築学科、同二部交通機械学科・土木工学科・建築学科増設
			理工学部一部建設工学科、同第二部建設工学科廃止
			大学院農学研究科農学専攻修士課程増設
1975	50年	4月	薬学専攻科薬学専攻設置
1976	51年	4月	商学部一部経済学科増設
			大学院農学研究科農学専攻博士後期課程増設
1977	52年	3月	短期大学部商経科第二部廃止
		4月	大学院工学研究科電気工学専攻・土木工学専攻・建築学専攻修士課程増設
1986	61年	4月	理工学部一部・二部電気工学科を電気電子工学科に名称変更
			大学院工学研究科電気工学専攻を電気電子工学専攻に名称変更
1990	平成 2年	4月	大学院工学研究科機械工学専攻修士課程増設
1992	4年	4月	大学院工学研究科機械工学専攻博士後期課程・建設工学専攻博士課程増設
1993	5年	4月	大学院工学研究科電気電子工学専攻博士後期課程・数学専攻修士課程設置
			大学院工学研究科を理工学研究科に名称変更
1995	7年	4月	都市情報学部都市情報学科設置
			大学院商学研究科商学専攻博士後期課程設置
			大学院理工学研究科数学専攻博士後期課程設置
1996	8年	4月	薬学部医療薬学科・薬学科設置
			大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程・薬学専攻博士前期課程設置
1999	11年	4月	法学部法学科・応用実務法学科設置
			農学部生物資源学科・応用生物化学科設置
			大学院都市情報学研究科都市情報学専攻修士課程設置
			商学部一部を商学部に名称変更
			理工学部一部を理工学部に名称変更
2000	12年	4月	経営学部経営学科・国際経営学科設置
			経済学部経済学科・産業社会学科設置
			理工学部数学科・情報科学科・電気電子工学科・材料機能工学科・機械システム工学科・交通科学科・建設システム工学科・環境創造学科・建築学科設置
			短期大学部情報国際科設置
			大学院経済学研究科経済学専攻修士課程設置
2001	13年	4月	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置
			大学院都市情報学研究科都市情報学専攻博士後期課程設置
2002	14年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程設置
			大学院理工学研究科数学専攻博士前期課程・情報科学専攻修士課程・電気電子工学専攻博士前期課程・材料機能工学専攻修士課程・機械システム工学専攻修士課程・交通科学専攻修士課程・建設システム工学専攻修士課程・環境創造学専攻修士課程・建築学専攻修士課程設置
			大学院総合学術研究科総合学術専攻博士前期課程・博士後期課程設置
2003	15年	4月	人間学部人間学科設置
			大学院経営学研究科経営学専攻博士後期課程設置
			大学院薬学研究科臨床薬学専攻修士課程・生命薬学専攻修士課程設置
		5月	薬学部薬学科・製薬学科廃止
2004	16年	4月	理工学部情報工学科設置
			大学院法務研究科法務専攻専門職学位課程設置
			大学院理工学研究科電気電子工学専攻博士後期課程を電気電子・情報・材料工学専攻博士後期課程に、同建設工学専攻博士課程を社会環境デザイン工学専攻博士課程に名称変更
		7月	大学院薬学研究科修士課程医療薬学専攻・博士前期課程薬学専攻廃止
2005	17年	4月	農学部生物環境科学科設置
		5月	大学院理工学研究科修士課程数学専攻・電気電子工学専攻・機械工学専攻・土木工学専攻・建築学専攻を廃止
		7月	短期大学部廃止
2006	18年	4月	薬学部薬学科（6年制）設置
			大学院大学・学校づくり研究科大学・学校づくり専攻修士課程設置
		5月	商学部二部商学科廃止
			理工学部一部数学科・電気電子工学科・機械工学科・交通機械学科・土木工学科・建築学科廃止
			農学部農学科・農芸化学科廃止
		11月	商学部商学科・経済学科廃止
2007	19年	5月	法学部二部法学科廃止
			理工学部二部数学科・電気電子工学科・機械工学科・交通機械学科・土木工学科・建築学科廃止
		12月	理工学部数学科・電気電子工学科・機械工学科・交通機械学科・土木工学科・建築学科廃止
			大学院商学研究科商学専攻修士課程・博士後期課程廃止
2008	20年	4月	大学院理工学研究科情報科学専攻修士課程を情報工学専攻修士課程に名称変更
			商学部一部商学科・経済学科廃止
		6月	法学部一部法学科廃止
2011	23年	4月	大学院人間学研究科人間学専攻修士課程設置
			理工学部交通科学科を交通機械工学科に名称変更
			LED共同研究センター開設
		5月	理工学部情報科学科廃止
			大学院薬学研究科臨床薬学専攻修士課程・生命薬学専攻修士課程廃止
2012	24年	4月	大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（4年制）設置
			薬学部医療薬学科・薬学科（4年制）廃止
2013	25年	4月	理工学部応用化学科・メカトロニクス工学科設置
			理工学部機械システム工学科を機械工学科に、同建設システム工学科を社会基盤デザイン工学科に名称変更
2015	27年	1月	大学院薬学研究科薬学専攻博士後期課程廃止
		4月	大学院理工学研究科交通科学専攻修士課程を交通機械工学専攻修士課程に名称変更
2016	28年	4月	外国語学部国際英語学科設置
2017	29年	4月	大学院理工学研究科応用化学専攻修士課程・メカトロニクス工学専攻修士課程設置
			大学院理工学研究科機械システム工学専攻修士課程を機械工学専攻修士課程に、同建設システム工学専攻修士課程を社会基盤デザイン工学専攻修士課程に名称変更
			人間学部人間学科、大学院人間学研究科人間学専攻が天白キャンパスからナゴヤドーム前キャンパスに移転
			都市情報学部都市情報学科、大学院都市情報学研究科都市情報学専攻が可児キャンパスからナゴヤドーム前キャンパスに移転
		7月	大学院大学・学校づくり研究科廃止
2019	31年	4月	大学院理工学研究科電気電子・情報・材料工学専攻博士後期課程を電気・情報・材料・物質工学専攻博士後期課程に名称変更
2020	令和 2年	4月	理工学部環境創造工学科設置
		7月	大学院法務研究科廃止
2022	令和 4年	4月	情報工学部情報工学科設置
2023	令和 5年	7月	法学部応用実務法学科廃止
2024	令和 6年	4月	理工学研究科環境創造工学専攻設置
2026	令和 8年	4月	大学院情報工学研究科情報工学専攻修士課程設置
			理工学部化学・物質学科設置

組織機構図

学校法人名城大学組織機構図(2026年6月1日)



▶歴代理事長

1949年 4月 1日		田中 壽一
1954年 11月15日	代理	今岡 正益
1955年 9月28日		伊藤 萬太郎
1958年 8月14日		田中 壽一
1959年 11月 5日		大野 富之助
1960年 2月14日		大橋 光雄
1960年 5月11日		田中 壽一
1963年 8月23日		渡邉 捨雄
1972年 1月29日	事務取扱	松本 忠太郎
1973年 11月 1日		中村 新一
1975年 12月22日		松尾 信資
1984年 1月29日		大隈 孝一
1992年 1月29日		八代 健三郎
1995年 10月 1日		佐伯 進
2000年 1月29日		岩崎 正視
2005年 12月16日		大橋 正昭
2012年 1月30日		小笠原 日出男
2018年 7月12日		立花 貞司
2026年 1月28日		小原 章裕

▶歴代学長

1949年 4月 1日		田中 壽一
1954年 11月15日	事務取扱	野村 均一
1955年 9月30日		大串 兎代夫
1958年 10月31日		日比野 信一
1963年 8月23日		三雲 次郎
1971年 4月 1日		小澤 久之亟
1972年 4月 1日		川上 幸治郎
1976年 4月 1日		濱口 秀夫
1979年 4月 1日		長戸 一雄
1982年 4月 1日		矢野 勝久
1985年 4月 1日		大塚 昭信
1988年 4月 1日		藤吉 正之進
1991年 4月 1日		丸勢 進
1997年 4月 1日		網中 政機
2003年 4月 1日		兼松 顕
2007年 4月 1日		下山 宏
2011年 4月 1日		中根 敏晴
2015年 4月 1日		吉久 光一
2019年 4月 1日		小原 章裕
2025年 4月 1日		野口 光宣

▶法人

特別・名誉顧問	立花 貞司
名誉顧問	大橋 正昭
顧問	長谷川 士郎

▶役員

理事長	小原 章裕
常務理事・理事(業務執行理事)	武藤 正美
理事(業務執行理事)・事務局長	鶴田 弘樹
理事(業務執行理事)	大脇 肇
理事(業務執行理事)	三澤 太輔
理事(業務執行理事)・名城大学学長	野口 光宣
理事(業務執行理事)・名城大学副学長	伊川 正樹
理事(業務執行理事)・名城大学副学長	大野 栄治
理事(業務執行理事)・附属高等学校長	伊藤 憲人

▶役員(2026年6月1日現在)

理事	神田 真秋 公益財団法人愛知県国際交流協会 会長
理事	小笠原 剛 株式会社三菱UFJ銀行 顧問
理事	中村 友美 元愛知県議会議員
理事	神谷 優子 弁護士
理事	丹下 富博 株式会社ファインメディカル 代表取締役社長
理事	臼田 信行 株式会社中日新聞社 相談役 中部日本ビルディング株式会社 代表取締役社長
理事	加藤 博 ノリタケ株式会社 代表取締役会長
理事	小倉 克幸 一般社団法人中部経済連合会 常務
監事	余語 弘 学校法人名城大学 元事務職員
監事	山本 雄吾 学校法人名城大学 元教育職員
監事	山本 光子 パーソルテンプスタッフ株式会社 相談役
監事	湯本 秀之 公認会計士

組織機構図

教育組織図(2026年4月1日現在)

- 大学
  - 学部
    - 法学部(1967年(昭和42年)開設)
      - 法学科
    - 経営学部(2000年(平成12年)開設)
      - 経営学科
      - 国際経営学科
    - 経済学部(2000年(平成12年)開設)
      - 経済学科
      - 産業社会学科
    - 外国語学部(2016年(平成28年)開設)
      - 国際英語学科
    - 人間学部(2003年(平成15年)開設)
      - 人間学科
    - 都市情報学部(1995年(平成7年)開設)
      - 都市情報学科
    - 情報工学部(2022年(令和4年)開設)
      - 情報工学科
    - 理工学部(1950年(昭和25年)開設)
      - 数学科
      - 情報工学科(2022年度から募集停止)
      - 電気電子工学科
      - 材料機能工学科(2026年度から募集停止)
      - 応用化学科(2026年度から募集停止)
      - 化学・物質学科
      - 機械工学科
      - 交通機械工学科
      - メカトロニクス工学科
      - 社会基盤デザイン工学科
      - 環境創造学科(2020年度から募集停止)
      - 環境創造工学科
      - 建築学科
    - 農学部(1950年(昭和25年)開設)
      - 生物資源学科
      - 応用生物化学科
      - 生物環境科学科
    - 薬学部(1954年(昭和29年)開設)
      - 薬学科
  - 大学院
    - 法学研究科
      - 法律学専攻 — 修士課程　博士後期課程
    - 経営学研究科
      - 経営学専攻 — 修士課程　博士後期課程
    - 経済学研究科
      - 経済学専攻 — 修士課程　博士後期課程
    - 人間学研究科
      - 人間学専攻 — 修士課程
    - 都市情報学研究科
      - 都市情報学専攻 — 修士課程　博士後期課程
    - 情報工学研究科
      - 情報工学専攻 — 修士課程
    - 理工学研究科
      - 数学専攻 — 博士前期課程　博士後期課程
      - 情報工学専攻(2026年度から募集停止) — 博士課程
      - 電気電子工学専攻 — 博士前期課程
      - 材料機能工学専攻 — 修士課程
      - 応用化学専攻 — 修士課程
      - 機械工学専攻 — 修士課程　博士後期課程
      - 交通機械工学専攻 — 修士課程
      - メカトロニクス工学専攻 — 修士課程
      - 社会基盤デザイン工学専攻 — 修士課程
      - 環境創造学専攻(2024年度から募集停止) — 修士課程
      - 環境創造工学専攻 — 修士課程
      - 建築学専攻 — 修士課程
      - 電気・情報・材料・物質工学専攻 — 博士後期課程
      - 社会環境デザイン工学専攻 — 博士課程
    - 農学研究科
      - 農学専攻 — 修士課程　博士後期課程
    - 薬学研究科
      - 薬学専攻 — 博士課程(4年制)
    - 総合学術研究科
      - 総合学術専攻 — 博士前期課程　博士後期課程
- 附属高等学校
  - 普通科

教員数

教員数(2026年6月1日現在)

専任教員数(482人)

(人)

	教授		准教授		助教		講師		助手		特任講師		特任助教		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
学長	1														1
法学部	24	5	11(1)	4(1)	1	1(1)									46(3)
経営学部	15	3	6	1	1(1)										26(1)
経済学部	12	4	7	4	1										28
外国語学部	11(4)	3	3(1)	2							5(5)	1			25(10)
人間学部	10	6	2(1)	1	2(1)	1									22(2)
都市情報学部	17(1)	2	2	5	1										27(1)
情報工学部	11	1	6		3										21
理工学部	94(2)	5	44(1)	6	4	3									156(3)
農学部	24		13	2	4	2									45
薬学部	26	2	21(1)	7	9(1)	4				2			1		72(2)
理工学研究科	3														3
教職センター	4	1	1			1									7
インターナショナル教育・研究センター												2(1)			2(1)
名城大学	1														1
合計	253	32	116	32	26	12	0	0	0	2	5	3	1	0	482

※特任教授・特任助手は専任教員数に含まない。

(　)内に外国人教員の内数を記載

学生数

在籍者数一覧(2026年5月1日現在)

学部

(人)

学部	学科	定員	合計			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
			男	女	計						
法学部	法学科	1,600	1,096	651	1,747	409	475	395	468		
経営学部	経営学科	860	494	401	895	230	214	212	239		
	国際経営学科	380	192	214	406	94	105	104	103		
	経営学部　計	1,240	686	615	1,301	324	319	316	342		
経済学部	経済学科	840	702	227	929	247	213	220	249		
	産業社会学科	400	290	142	432	109	96	110	117		
	経済学部　計	1,240	992	369	1,361	356	309	330	366		
外国語学部	国際英語学科	520	182	383	565	133	137	140	155		
人間学部	人間学科	880	264	696	960	233	225	231	271		
都市情報学部	都市情報学科	940	719	288	1,007	246	275	236	250		
情報工学部	情報工学科	720	663	109	772	178	220	173	201		
理工学部	数学科	380	317	64	381	107	100	86	88		
	情報工学科	-	17	1	18	0	0	0	18		
	電気電子工学科	620	624	38	662	181	167	151	163		
	化学物質学科	150	105	50	155	155	-	-	-		
	材料機能工学科	240	230	43	273	0	92	83	98		
	応用化学科	210	137	84	221	0	88	67	66		
	機械工学科	500	486	26	512	119	127	121	145		
	交通機械工学科	460	459	26	485	105	126	117	137		
	メカトロニクス工学科	320	315	30	345	91	94	78	82		
	社会基盤デザイン工学科	360	316	81	397	104	100	102	91		
	環境創造工学科	320	257	82	339	86	93	75	85		
	建築学科	580	410	211	621	163	167	145	146		
	理工学部　計	4,140	3,673	736	4,409	1,111	1,154	1,025	1,119		
農学部	生物資源学科	440	237	197	434	114	111	111	98		
	応用生物化学科	440	128	311	439	108	125	109	97		
	生物環境科学科	440	268	207	475	117	111	111	136		
	農学部　計	1,320	633	715	1,348	339	347	331	331		
薬学部(6年)	薬学科	1,590	545	1,135	1,680	314	275	269	281	261	280
学部　合計		14,190	9,453	5,697	15,150	3,643	3,736	3,446	3,784	261	280

研究科

(人)

研究科	専攻・課程		収容定員	1年次			2年次			3年次			4年次			合計		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
法学研究科	法律学専攻	修士課程	12	3	3	6	3	3	6							6	6	12
経営学研究科	経営学専攻	修士課程	20	0	0	0	1	1	2							1	1	2
経済学研究科	経済学専攻	修士課程	6	1	0	1	0	0	0							1	0	1
人間学研究科	人間学専攻	修士課程	10	0	0	0	1	0	1							1	0	1
都市情報学研究科	都市情報学専攻	修士課程	12	1	0	1	5	1	6							6	1	7
情報工学研究科	情報工学専攻	修士課程	45	49	5	54	-	-	-							49	5	54
理工学研究科	数学専攻	博士前期課程	16	4	1	5	2	0	2							6	1	7
	情報工学専攻	修士課程	30	2	0	2	36	4	40							38	4	42
	電気電子工学専攻	博士前期課程	50	49	2	51	28	2	30							77	4	81
	材料機能工学専攻	修士課程	70	41	3	44	41	5	46							82	8	90
	応用化学専攻	修士課程	48	12	6	18	13	1	14							25	7	32
	機械工学専攻	修士課程	60	36	3	39	33	2	35							69	5	74
	交通機械工学専攻	修士課程	50	18	1	19	22	1	23							40	2	42
	メカトロニクス工学専攻	修士課程	48	23	3	26	24	2	26							47	5	52
	社会基盤デザイン工学専攻	修士課程	36	3	0	3	3	0	3							6	0	6
	環境創造工学専攻	修士課程	16	11	3	14	7	4	11							18	7	25
	環境創造学専攻	修士課程	-	-	-	-	1	0	1							1	0	1
	建築学専攻	修士課程	32	10	4	14	18	6	24							28	10	38
	理工学研究科 計		456	209	26	235	227	27	254	0	0	0	0	0	0	436	53	489
農学研究科	農学専攻	修士課程	60	40	22	62	28	20	48							68	42	110
総合学術研究科	総合学術専攻	博士前期課程	16	5	0	5	2	1	3							7	1	8
修士課程・博士前期課程　合計			637	308	56	364	267	53	320	0	0	0	0	0	0	575	109	684
法学研究科	法律学専攻	博士後期課程	6	0	2	2	0	0	0	1	2	3	0	0	0	1	4	5
経営学研究科	経営学専攻	博士後期課程	9	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
経済学研究科	経済学専攻	博士後期課程	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都市情報学研究科	都市情報学専攻	博士後期課程	9	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	3	0	3
理工学研究科	数学専攻	博士後期課程	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	電気・情報・材料・物質工学専攻	博士後期課程	30	9	1	10	2	2	4	3	0	3	0	0	0	14	3	17
	機械工学専攻	博士後期課程	15	3	0	3	0	0	0	6	0	6	0	0	0	9	0	9
	社会環境デザイン工学専攻	博士課程	15	3	0	3	1	0	1	1	0	1	0	0	0	5	0	5
	理工学研究科 計		66	16	1	17	3	2	5	10	0	10	0	0	0	29	3	32
農学研究科	農学専攻	博士後期課程	9	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	1	3
薬学研究科(4年制)	薬学専攻	博士課程	16	7	2	9	1	4	5	3	2	5	3	0	3	14	8	22
総合学術研究科	総合学術専攻	博士後期課程	12	2	2	4	1	1	2	0	1	1	0	0	0	3	4	7
博士課程・博士後期課程　合計			133	29	7	36	6	7	13	16	6	22	3	0	3	54	20	74
大学院　合計			770	337	63	400	273	60	333	16	6	22	3	0	3	629	129	758

教育方針

名城大学の3つのポリシー、アセスメント・ポリシー

卒業の認定に関する方針(学位授与方針)[ディプロマ・ポリシー]

名城大学は、「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」という立学の精神に基づき、
次の資質・能力を身につけた学生に学位を授与します。

1. 幅広い教養を身につけ、広い視野に立って物事の公正な判断をすることができる。
2. 専門分野に熟達し、社会における諸問題の解決のためにその知識・能力を活用できる。
3. 主体的に学び続け、学んだことを分かち合い、共に成長することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針[カリキュラム・ポリシー]

名城大学は、各学科の教育目標を達成し、学位授与方針に示す資質・能力を身につけさせるため、
次のような教育課程を編成し、実施します。

1. 人文・社会・自然科学、語学、情報技術、体育等からなる教養教育課程を体系的に編成し、様々な価値観に触れ、物事を正しく理解し表現できるようにする。
2. 専門教育課程を体系的に編成し、講義・演習・実験・実習等を適切に組み合わせた授業を実施することにより、専門分野の知識・能力を確実に修得し、問題解決のために活かすことができるようにする。
3. 初年次教育や演習・実験・実習科目を中心に能動的学修の要素を取り入れることにより、生涯にわたって主体的に学び、他者との相互理解や意見交換ができるようにする。
4. 学修成果に対する厳格な成績評価と単位認定を行うとともに、学修行動調査やGPA、修得単位数に基づく個別指導を行うことにより、個々の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。

入学者の受入れに関する方針［アドミッション・ポリシー］

名城大学は、高等学校等における学習を通して、次のような資質・能力を身につけている人を受入れます。

1. 大学での学修の基礎となる高等学校における各教科の基本事項を修得している。
2. 入学を希望する学科での学修成果を社会で活かすという目的意識がある。
3. 大学在学中だけでなく、卒業後も学び続ける意欲がある。

アセスメント・ポリシー

大学及び学科レベルでは、ディプロマ・ポリシーの科目群ごとのGPAの数値に加えて、
単位取得状況、学修行動調査、卒業時調査及び学生アンケートにより評価する。

科目レベルでは、シラバスに記載してある方法で成績評価を行う。
評価は、テストやレポートなど科目の内容に合わせた方法で実施する。
卒業研究については、各学部が定める評価基準に基づいて卒業論文等の成果を評価し、
大学及び学科レベルでは、その集計値で評価する。

教職課程・学芸員課程

名城大学では、薬学部を除くすべての学部で教職課程および学芸員課程を開設し、教職センターが中心となって運営しています。
教職課程では、教育職員免許状取得に必要な教育課程を提供するとともに、教員養成を目的とした質の高い教育、教職をめざす学生に対する責任ある教育の実現と、組織的な取り組みを含めた教職指導体制の充実をめざしています。
学芸員課程では、博物館等で資料収集、調査研究、展示、情報提供等において専門的な仕事を担当する専門職である「学芸員」の資格取得希望学生に対して、所属する学部の専門分野を生かして博物館活動を担える、実践力のある学芸員養成を目的とした教育を行っています。

名城大学で取得可能な免許状（2026年度入学生）

学部・学科	校種と免許教科	
	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
法学部	社会	地理歴史、公民
経営学部	——	商業
経済学部	社会	地理歴史、公民、商業
外国語学部	英語	英語
人間学部	社会、英語	地理歴史、公民、英語
都市情報学部	——	公民、情報
理工学部 数学科	数学	数学、情報
理工学部 メカトロニクス工学科	——	工業
理工学部 環境創造工学科		
理工学部（上記以外の学科）	理科	理科、工業
農学部	理科	理科、農業
情報工学部	——	情報、工業

研究科・専攻	校種と免許教科	
	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
法学研究科	社会	公民
経営学研究科	——	商業
経済学研究科	社会	公民
理工学研究科 数学専攻	数学	数学
理工学研究科 応用化学専攻	理科	理科
理工学研究科（数学専攻・応用化学専攻以外）	——	工業
農学研究科	理科	理科、農業

令和7年度　教員免許状授与結果一覧表

学部/研究科	学科/専攻	授与人数	中学校教諭一種				高等学校教諭一種									中学校教諭専修			高等学校教諭専修						授与件数
		実数	社会	数学	理科	英語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	英語	商業	工業	農業	社会	数学	理科	公民	数学	理科	商業	工業	農業	合計
法学部	法学科	15	12				13	12																	37
	小計	15	12	0	0	0	13	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
経営学部	経営学科	1											1												1
	国際経営学科	1											1												1
	小計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
経済学部	経済学科	10	8				10	10					1												29
	産業社会学科	4					2						2												4
	小計	14	8	0	0	0	12	10	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
外国語学部	国際英語学科	13				9						13													22
	小計	13	0	0	0	9	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
人間学部	人間学科	15	4			6	8	1				7													26
	小計	15	4	0	0	6	8	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
都市情報学部	都市情報学科	9						5			9														14
	小計	9	0	0	0	0	0	5	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
理工学部	数学科	42		36					42		11														92
	情報工学科	1									1														1
	電気電子工学科	3			1					2				1											4
	材料機能工学科	3			3					3				2											8
	応用化学科	3			2					3				1											6
	機械工学科	3	1							2				1											4
	交通機械工学科	6			2					3				4											9
	メカトロニクス工学科	1												1											1
	社会基盤デザイン工学科	2			1					1				1											3
	環境創造工学科																								0
	建築学科	3			2					2				2											6
	小計	67	1	39	11	0	0	0	42	16	12	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134
農学部	生物資源学科	12			11					12					5										28
	応用生物化学科	4			3					3					2										8
	生物環境科学科	10			6					10					3										19
	小計	26	0	0	20	0	0	0	0	25	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
情報工学部	情報工学科	2									2														2
	小計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
理工学研究科	数学専攻	1															1			1					2
	情報工学専攻																								0
	材料機能工学専攻																								0
	応用化学専攻																								0
	機械工学専攻																								0
	小計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
総合計		164	25	39	31	15	33	28	42	41	23	20	5	13	10	0	1	0	0	1	0	0	0	0	327

公立学校教員採用選考試験校種別合格者数一覧　※既卒者は教育委員会への調査結果による

（人）

年度（採用年度）	現役・既卒の別	小学校	中学校（中・高）	高等学校	特別支援	計
令和8年度（2026年度）	現役	0	16	14	0	30
	既卒	7	13	13	5	38
	合計	7	29	27	5	68

学芸員資格を取得できる学部・学科（2026年度入学生）

学部	学科
法学部	法学科
経営学部	経営学科、国際経営学科
経済学部	経済学科、産業社会学科
人間学部	人間学科
都市情報学部	都市情報学科
外国語学部	国際英語学科
理工学部	数学科、電気電子工学科、化学・物質学科、機械工学科、交通機械工学科、メカトロニクス工学科、社会基盤デザイン工学科、環境創造工学科、建築学科
農学部	生物資源学科、応用生物化学科、生物環境科学科
情報工学部	情報工学科

学芸員資格取得者数の推移（科目等履修生は除く）

年度＼学部	法	経営	経済	外国語	人間	都市情報	理工	農	情報工学	合計
平成26年度（2014年度）			2			1	3	22		28
平成27年度（2015年度）		1	1		5		1	11		19
平成28年度（2016年度）	2	2			6	2	6	31		49
平成29年度（2017年度）	2	3			4		8	17		34
平成30年度（2018年度）	3	1				3	3	29		39
令和元年度（2019年度）	1	1			3	6	2	32		45
令和２年度（2020年度）	1		2	2	4	4	3	33		49
令和３年度（2021年度）			1		2	2	4	26		35
令和４年度（2022年度）					2		4	16		22
令和５年度（2023年度）	2			1	4	2	5	20		34
令和６年度（2024年度）	2		1		2	2	3	24		34
令和７年度（2025年度）	3		1		1	1	4	18		28

進路・就職支援体制

2026年（2025年度）学部卒業生就職・求人状況（2026年5月1日現在）

就職率

99.6%

（全国平均 98.0%）

※① 就職率…就職希望者に対する就職者の割合
② 全国平均…文部科学省・厚生労働省調査5月23日発表

全国私大トップクラスの実績

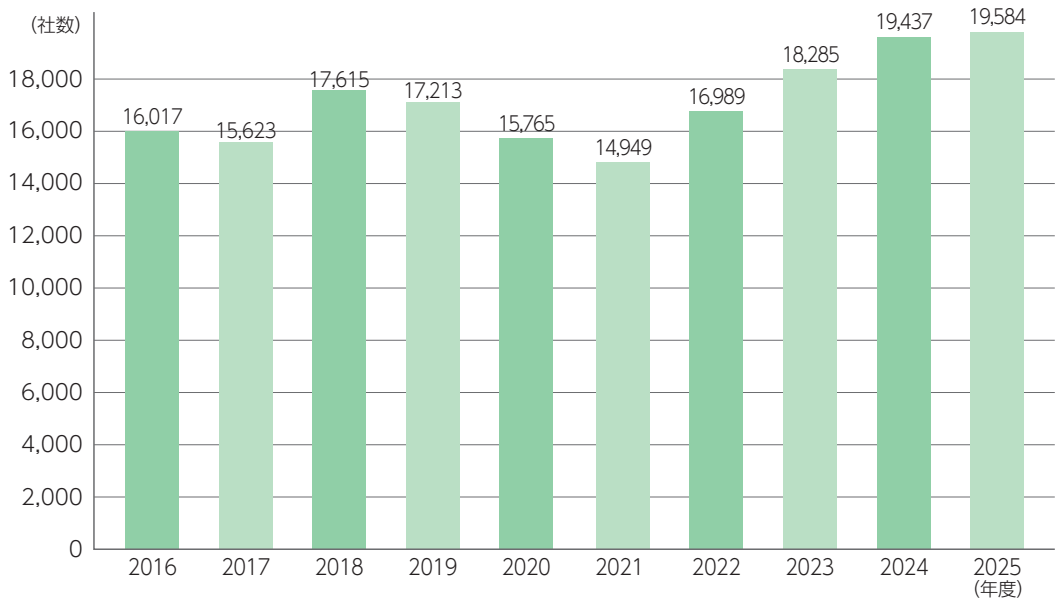
実就職率

96.8%

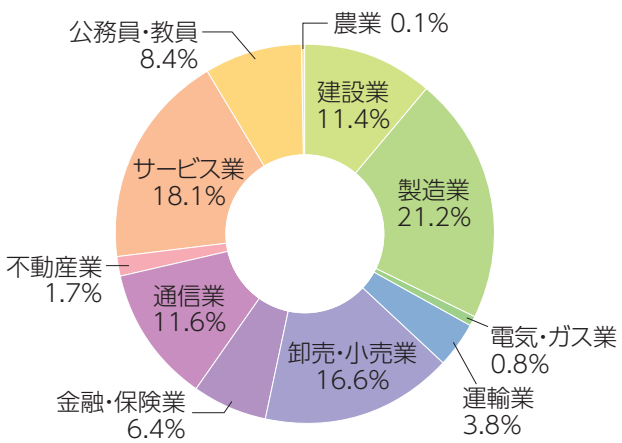
〈2025年〉96.6% 全国私大No.1
〈2024年〉96.5% 全国私大No.1

※①実就職率…卒業者から大学院進学者を除いた者に対する就職者の割合
②2024、2025年の順位は、「サンデー毎日」学部卒業生2000名以上の大学から抽出

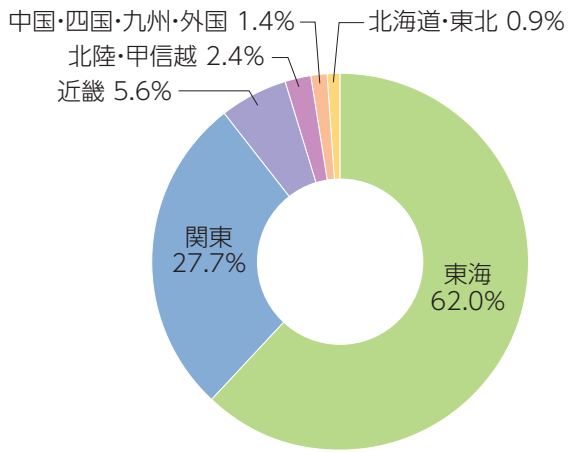
求人社数の推移



業種別就職状況

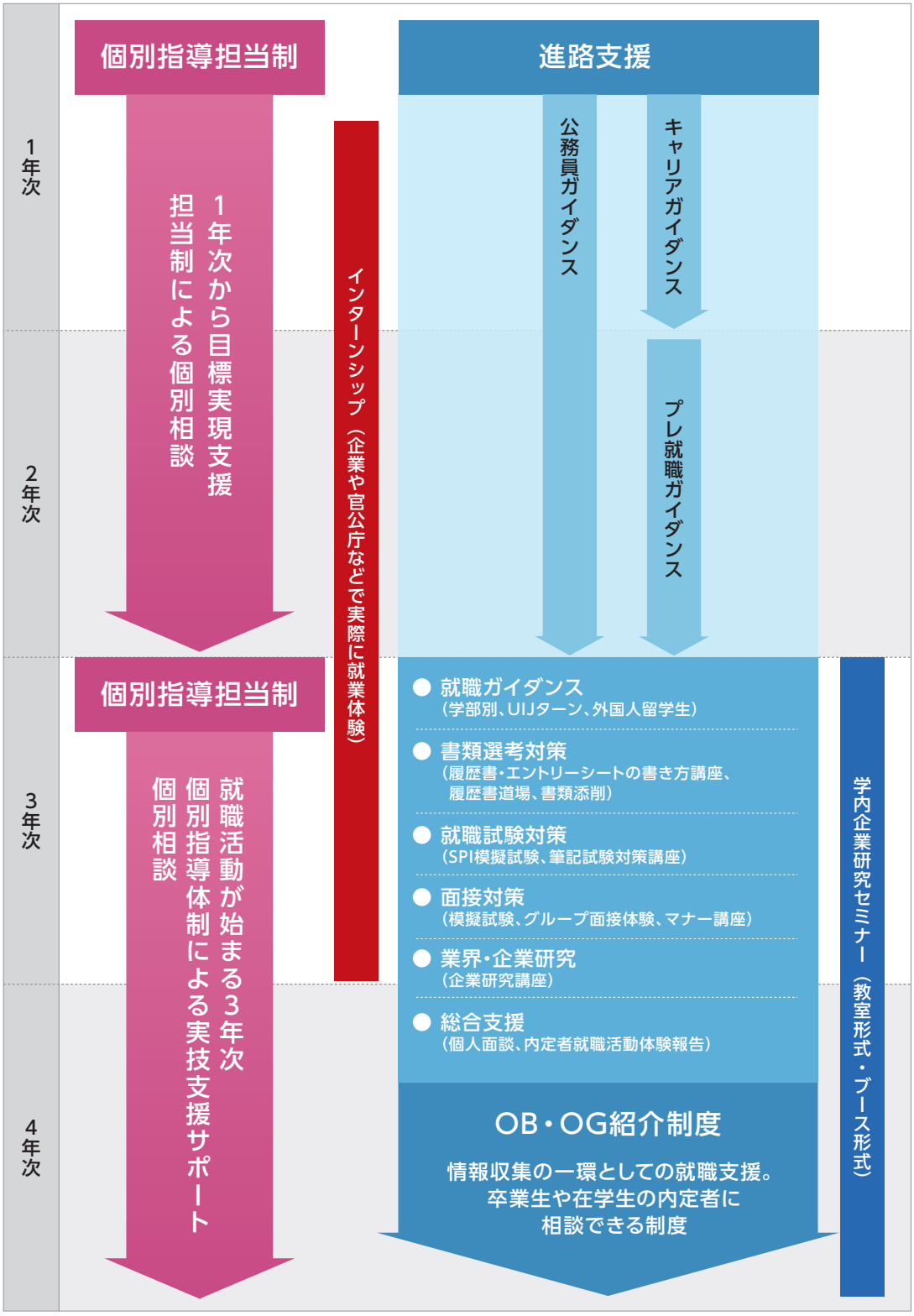


地区別就職状況



進路・就職支援体制

単なる就職指導にとどまらず、4年間の段階的な就職指導を通じた就職意識の向上や個別指導担当制など、一人ひとりのキャリアデザインと向き合っています。



進路支援（1・2年次）

1・2年次からキャリアデザインをサポート

キャリアセンターでは、早期から将来のキャリアについて考えられるように1・2年生を対象として、「自分の生き方」や「将来の進路、働き方」について考えるきっかけとなるような講演会の開催や、自己診断テスト、個人相談、公務員相談などを実施しています。

就職指導担当制

キャリアセンターでは、1年次から、キャリア形成や就職における担任のような形で1年生にキャリアセンター職員を割り振り指導にあたっています。担当となった職員は、学生と一体となってその適性を考慮しながら、希望する企業への就職などをめざし、親身に指導にあたっています。
また、理工学部・薬学部においては、実学的思考が濃い学部の特性もあり、所属する学科や指導教授・就職委員による指導が中心となっています。担当職員は、こうした学部の特性を踏まえた上で、教員と連携しながら就職支援にあたっています。

進路支援講座

将来の夢や働くことについて学生一人ひとりが自ら考える機会を提供し、職業観を育成するとともに、目的意識を持って学生生活を送ることを支援するのが進路支援講座です。

エアライン就職サポート【M-CAP】
CA/GS/パイロット/整備士/総合職

全学部・全学年が対象。【M-CAP】はエアライン業界へチャレンジしたい人のための就職サポートです。CAやGSはもちろん、パイロット、整備士、総合職を目指す人も支援します。　ANA、JAL、FDAなどの内定者を複数輩出。JAL（CA）、JAL（総合職）、キャセイパシフィック航空（CA）、JALスカイ（GS）、ANA中部空港（GS）、ANAエアポートサービス（GS）などの進路決定者が出ています。また、1～3年生対象の「JALホスピタリティ講座」はJALの現役CAを講師に迎え、理論と実習を交えて学ぶことで、エアラインはもちろん、ホテル、ブライダル、観光などホスピタリティ業界を目指す方にも最適な講座です。

▶過去内定実績

- 全日本空輸（ANA）
- 日本航空（JAL）
- フジドリームエアラインズ（FDA）
- カタール航空
- キャセイパシフィック航空
- マカオ航空
- スターフライヤー
- ANA中部空港
- ドリームスカイ名古屋
- ANAエアポートサービス
- ANA成田AS
- ANA関西空港
- ANA沖縄空港
- JALスカイ
- JALスカイ札幌
- Kスカイ
- SAS
- スイスポートジャパン
- アシアナスタッフサービス
- JALエンジニアリング
- 中日本航空
- 航空大学校　ほか

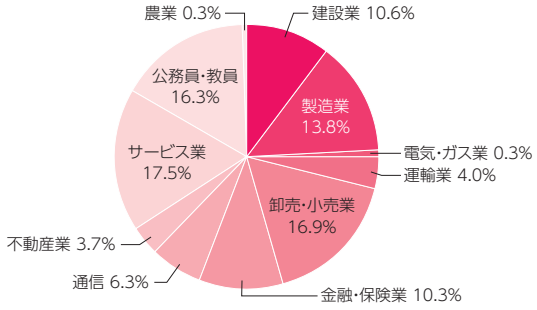
公務員試験・資格取得対策講座

スキルアップをめざす学生のために、資格取得をサポートする講座を開講。
基礎的な資格講座から公務員試験対策講座まで、それぞれの目的に合ったバラエティー豊かなプログラムがそろっています。

就職実績 2026年度学部卒業生

※就職進路届より抜粋

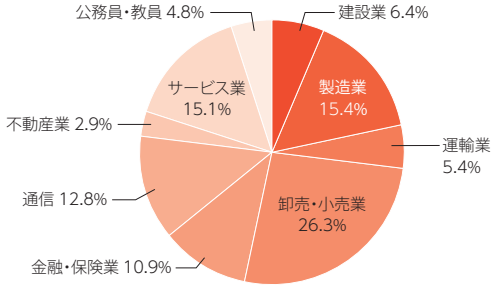
法学部



▶主な就職先

伊藤忠食品／伊藤忠テクノソリューションズ／NDS／カヤバ／CKD／ジェイテクト／スズキ／鈴与／ダイトロン／東海旅客鉄道(JR東海)／トーエネック／豊田合成／トヨタ自動車／豊田自動織機／名古屋銀行／林テレンプ／プリマハム／持田製薬／郵船ロジスティクス／リンナイ／厚生労働省北海道労働局／財務省　名古屋税関／名古屋国税局(国税専門官)／愛知県庁／三重県庁／一宮市役所／岐阜市役所／名古屋市役所／愛知県警察本部／警視庁

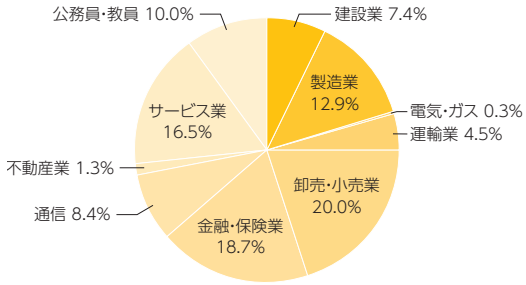
経営学部



▶主な就職先

アイカ工業／アルフレッサ／一条工務店／稲畑産業／ANAウイングス／エレコム／岡三証券／クリナップ／ジェイテクト／スズケン／住友重機械工業／西濃運輸／全日本空輸(ANA)／太陽化学／東海旅客鉄道(JR東海)／トヨタ自動車／トヨタ紡織／ナブテスコ／萩原電気ホールディングス／フジドリームエアラインズ／本田技研工業／ミルボン／村田製作所／ユー・エス・ジェイ／ゆうちょ銀行／楽天グループ／RYODEN／愛知県庁／静岡県庁／大府市役所

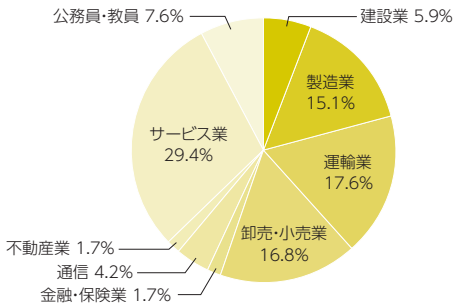
経済学部



▶主な就職先

アイホン／旭化成／アルプスアルパイン／伊勢湾海運／井村屋グループ／大塚商会／関西電力／近畿日本鉄道／CKD／東海東京フィナンシャル・ホールディングス／東海旅客鉄道(JR東海)／東京海上日動火災保険／TOPPAN／豊田自動織機ITソリューションズ／名古屋銀行／西日本旅客鉄道(JR西日本)／日本道路／フォスター電機／マツダ／みずほ銀行／メイドー／山善／LIXIL／YKK　AP／名古屋国税局(国税専門官)／愛知県庁／三重県庁／岡崎市役所／大阪府警察本部／名古屋市教育委員会

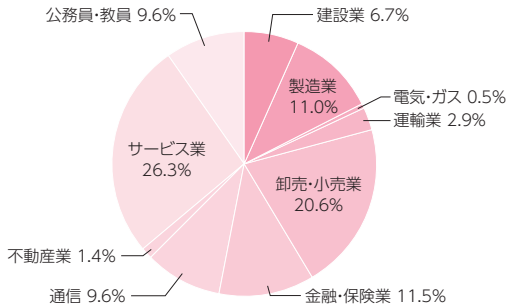
外国語学部



▶主な就職先

愛三工業／愛知時計電機／近畿日本ツーリスト／興和／国分中部／シャネル／JALスカイ／十六フィナンシャルグループ／住友電装／全日本空輸(ANA)／ダイドー／槌屋／THK／ヒルトン東京ベイ／トヨタシステムズ／トヨタ自動車／中日本航空／日本航空(JAL)／日本赤十字社／浜名湖電装／FUJI／北海道乳業／名港海運／モンベル／ヤマザキマザック／U-NEXT／豊橋市役所／名古屋市役所／愛知県教育委員会／川崎市教育委員会

人間学部



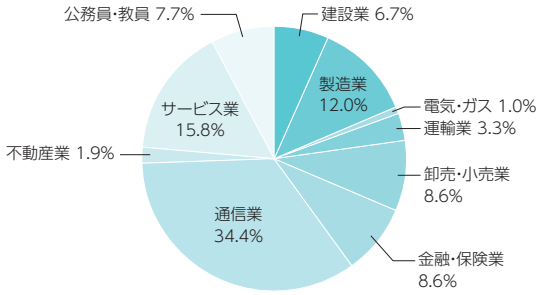
▶主な就職先

アピ／イオン銀行／イオンリテール／エイチ・アイ・エス／ANA中部空港／オーエスジー／大垣共立銀行／岡崎信用金庫／河合楽器製作所／クロスプラス／一般財団法人公園財団／興和／サンデーフォークプロモーション／敷島製パン／スズキ／住友電装／積水ハウス／全国健康保険協会／トヨタ自動車／名古屋鉄道／日立産機システム／プリマハム／北海道新聞社／名港海運／リコージャパン／良品計画／岐阜県庁(心理)／名古屋市役所／愛知県教育委員会／神奈川県警察本部

都市情報学部

▶主な就職先

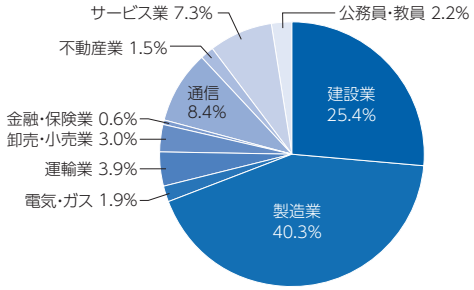
アールプランナー／アイカ工業／旭化成ホームズ／NECソリューションイノベータ／NTTデータ東海／大垣共立銀行／大塚商会／ジェイアール東海ツアーズ／Sky／中電シーティーアイ／DMG森精機／デンソーテクノ／東海旅客鉄道（JR東海）／東京海上日動火災保険／トーテックアメニティ／トヨタシステムズ／日本貨物鉄道（JR貨物）／日本工営都市空間／東日本旅客鉄道（JR東日本）／日立システムズ／マキタ／三菱電機ソフトウエア／三菱UFJ銀行／名港海運／LIXIL／リンナイ／国土交通省　中部地方整備局／愛知県庁／名古屋市役所／日進市役所



理工学部

▶主な就職先

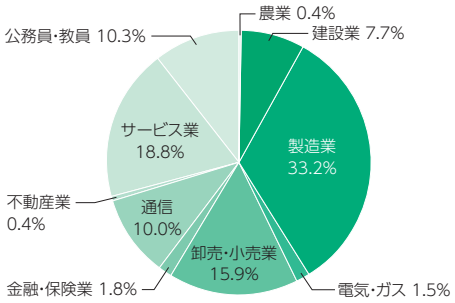
IHI／アイシン／愛知製鋼／旭化成／イビデン／NTT東日本／オークマ／大林組／鹿島建設／キオクシア／KDDI／ジェイテクト／JERA／島津製作所／清水建設／Sky／スズキ／スタンレー電気／住友電装／セーレン／大成建設／大同特殊鋼／大和ハウス工業／竹中工務店／中部電力／DMG森精機／デンソー／東海理化電機製作所／東海旅客鉄道（JR東海）／東京エレクトロングループ／東邦ガス／豊田合成／トヨタシステムズ／トヨタ自動車／トヨタ車体／トヨタ紡織／中日本高速道路（NEXCO中日本）／西日本旅客鉄道（JR西日本）／日本発条／日本メナード化粧品／東日本旅客鉄道（JR東日本）／日立製作所／富士通／ブラザー工業／本田技研工業／マキタ／マツダ／三菱重工業／三菱電機／メタウォーター／メニコン／ヤマザキマザック／ヤマハ発動機／LINEヤフー／LIXIL／ローム／国土交通省航空局（空港技術）／愛知県庁／名古屋市役所（行政・情報・土木・建築）／東京都教育委員会



農学部

▶主な就職先

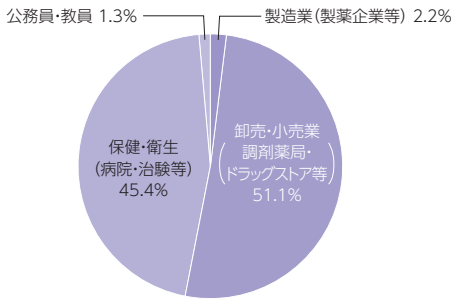
愛知県厚生農業協同組合連合会（JA愛知厚生連）／味の素／伊藤園／伊藤ハム米久ホールディングス／イビデン／カネコ種苗／カルビー／JERA／ジョンソン・エンド・ジョンソン／宝酒造／東海旅客鉄道（JR東海）／東邦ガス／トーエネック／鳥羽水族館／トヨタシステムズ／トヨタ自動車／一般社団法人日本植物防疫協会／国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構／独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC）／ホーユー／Mizkan J plus Holdings／メニコン／森永乳業／ヤクルト本社／リンナイ／海上保安庁／農林水産省　植物防疫所／愛知県庁（農学・林学）／岐阜県庁（農学）／三重県庁



薬学部

▶主な就職先

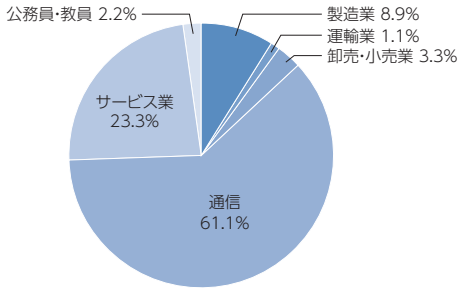
学校法人愛知医科大学　愛知医科大学病院／愛知県厚生農業協同組合連合会　海南病院／愛知県厚生農業協同組合連合会　江南厚生病院／アイングループ／ウエルシア薬局／エーザイ／地方独立行政法人岐阜県総合医療センター／協和ケミカル（キョーワ薬局）／クオール／社会医療法人宏潤会大同病院／興和／独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター／スギ薬局／スギヤマ薬品／社会福祉法人聖隷福祉事業団／総合メディカル／たんぽぽ薬局／独立行政法人地域医療機能推進機構　中京病院／ツルハ／東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院／東和薬品／医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院／豊橋市民病院／公立大学法人名古屋市立大学 名古屋市立大学病院／日本調剤／ファインメディカル／学校法人藤田学園　藤田医科大学病院／地方独立行政法人三重県立総合医療センター／愛知県庁（薬剤師）／岐阜市役所（薬剤師）



情報工学部

▶主な就職先

アビームシステムズ／伊藤忠テクノソリューションズ／SCSK／エスユーエス／NTTデータ東海／NTTドコモ／NTTドコモソリューションズ／CARTA　HOLDINGS／キヤノンITソリューションズ／サイバーエージェント／システムリサーチ／シンプレクス・ホールディングス／住友電装／ソフトバンク／タマディック／中電シーティーアイ／TIS／デンソーテクノ／トーテックアメニティ／トヨタシステムズ／豊田自動織機／豊田自動織機ITソリューションズ／名古屋鉄道／日立ソリューションズ／FUJI／三菱電機ソフトウエア／三菱電機デジタルイノベーション／楽天グループ／名古屋市役所（情報）／四日市市役所



国際交流

海外協定締結先一覧(2026年5月1日現在)

インド	インド工科大学ダンバード校
	シュリーキャランナレンドラ農業大学
	デンプ人文科学大学
インドネシア	アイルランガ大学
	ブラウィジャヤ大学
スリランカ	スリジャヤワルダネプラ大学
	ペラデニヤ大学
タイ	カセサート大学
	キングモンクット工科大学トンブリ校
	コンケン大学　人文社会学部
	チュラロンコン大学建築学部
	チュラロンコン大学工学部
	チュラロンコン大学理学部
	ラジャマンガラ工科大学タニヤブリ校
ネパール	トリブバン大学　工学研究所
フィリピン	デラサール大学
	デラサール大学　ダスマリニャス校
	フィリピン大学
ベトナム	ダナン外国語大学 (ダナン大学)
	ハノイ教育大学
	ハノイ経営工科大学
	ベトナム国立大学ハノイ校
	ホーチミン市開発研究所
	ホーチミン市外国語・情報技術大学
	交通運輸大学
マレーシア	ウーロンゴン大学
	テイラーズ大学
	マラヤ大学
ミャンマー	マンダレー大学
	ヤンゴン外国語大学
韓国	慶熙大学校政経学部
	高麗大学校法科大学
	全南大学校
	忠南大学校
	東国大学校
	東亞大学校
台湾	逢甲大学
	元智大学
	国立台中科技大学(旧:国立台中技術学院)
	国立台湾科技大学
	国立台湾大学電気情報工学部
	国立台湾大学法律学院
	国立中山大学　工学部
	真理大学
	世新大学
	中原大学
	輔仁大学法律学院
	銘伝大学

中国	マカオ大学
	河北工業大学
	桂林理工大学
	江南大学
	香港教育大学
	首都経済貿易大学
	上海師範大学
	上海大学理学院
	上海同済大学アジア太平洋研究センター
	新疆農業大学
	清華大学法律学部
	大連交通大学
	中国三峡大学
	中国薬科大学
	天津城建大学 (旧:天津城市建設学院)
	天津大学 管理学院
	内蒙古大学
	内蒙古農業大学
	南開大学
	南京工業大学浦江学院
	北京建築大学
	北京第二外国語大学
	浙江大学理学院・機械エネルギー学院
	瀋陽薬科大学
	韶関学院
エジプト	エジプト日本科学大学
	ザガジク大学
モロッコ	アル・アハワイン大学
オーストラリア	キャンベラ大学
	クィーンズランド工科大学
	ディーキン大学
イギリス	ウエストミンスター大学
	ブラッドフォード大学
イタリア	ヴィネツィア・カ・フォスカリ大学
	トルヴェルガタ大学ヴォルテラセンター
オランダ	トウェンテ大学行動・経営・社会科学部
	ライデン大学人文学部
スイス	フリブール大学
スペイン	ESIC大学
	ウエルバ大学
	ジャウメ1世大学
	ハエン大学
ドイツ	アウクスブルク大学
	オスナブリュック大学
	ハイルブロン大学
ノルウェー	オスロ大学
フィンランド	ハーガ・ヘリア応用科学大学

フランス	ロレーヌ大学
	OMNES EDUCATION
	アルザス・欧州日本学研究所
	アンジェ大学
	サヴォア・モンブラン大学
ベルギー	アルテヴェルデ応用科学大学
	ブリュッセル自由大学
ポーランド	ワルシャワ大学
リトアニア	ヴィルニュス大学
ロシア	ロモノーソフ・モスクワ国立総合大学
	太平洋国立大学 (旧ハバロフスク国立工業大学)
アメリカ	アリゾナ大学
	ウイリアムSリチャードソン・スクール・オブ・ローハワイ大学マノア校
	オレゴン州立大学
	サンフォード大学
	テキサス大学ダラス校
	ニューヨーク市立大学ハンター校
	フロリダ大学
	ポートランド州立大学
	マレー州立大学
	ユタ工科大学
	ルイスクラーク州立大学
	南オレゴン大学
	南カリフォルニア大学
カナダ	カルガリー大学生涯学習部
	ケベック大学モントリオール校
	ブロック大学
メキシコ	オートノマス・メトロポリタン大学
	バハカリフォルニア自治大学

▶ 交換留学

交換留学は、名城大学に在籍しながら協定大学へ1学期間または1年間留学できる制度です。その目的は、大きく分けて2つあります。

- 名城大学の協定校において、専門知識や興味ある学問に関する知識を深めること
- 現地での経験や人との交流を通じ、視野を広げ、コミュニケーション能力の向上を図ること

ただし、本学では、語学力が十分でない場合には、所属する学部および交換留学先の大学が交換留学生を大学付属語学学校や語学コースでの受入れを許可する場合に限り、語学習得のための交換留学も認めています。交換留学の派遣学生として選ばれた場合、各種手続きはオリエンテーションなどを通して国際化推進センターがサポートします。

▶ 海外英語研修

実践的な語学力を養い、各国の文化や生活を学ぶため、夏休みと春休みを利用して、海外の語学学校等で学ぶ短期留学制度です。名城大学で最も参加者の多い海外留学プログラムです。

対象学生	学部生・大学院生(休学中の者は不可)
研修期間	2～5週間
研修先	アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド、マルタ共和国、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、シンガポールなど
募集時期	夏研修:4月　春研修:9～10月(予定)
渡航時期	夏休み、春休み

▶ グローバルキックオフプログラム

海外の学生との交流や文化体験などを通じて、海外初心者の世界への第一歩を後押しする超短期プログラムです。2025年度は韓国でプログラムを実施しました。

▶ 海外ボランティア・インターンシッププログラム

海外でボランティアやインターンシップを行うプログラムです。2025年度には、フィリピン・セブにおいて、NGO施設の孤児院でボランティア活動や、マクタン・セブ国際空港などでインターンシップを行いました。プログラムを通して、視野を広げ、国際感覚を磨くとともに、主体性など社会人基礎力も身に付けます。

▶ 国際専門研修

専門領域に根差した国際交流経験と英語の実践的な運用を行う機会を設けることを目的として、各学部・研究科の教員が企画・運営を行う本学ならではのプログラムです。渡航費用や実施費用の一部を大学が支援することで、学生の費用負担を抑えながらも質の高いプログラムを展開しています。

外国人留学生在籍者数(2026年5月1日現在)

区分	学部・学科		年次 1	2	3	4	計	中国	台湾	ベトナム	インドネシア	ミャンマー	韓国	ネパール
学部	法学部	法学科	2	2	4	1	9	7		1			1	
	経営学部	経営学科	2	1	3	1	7	2	1	2		2		
		国際経営学科		1	2	2	5	1	1	1		2		
	経済学部	経済学科	1	1		1	3	2				1		
		産業社会学科			1		1	1						
	理工学部	数学科												
		情報工学科												
		電気電子工学科		1			1				1			
		材料機能工学科												
		応用化学科												
		機械工学科												
		交通機械工学科												
		メカトロニクス工学科												
		社会基盤デザイン工学科												
		環境創造学科												
		建築学科												
	情報工学部	情報工学科	1				1				1			
	農学部	生物資源学科												
		応用生物化学科												
		生物環境科学科												
	薬学部	薬学科												
	都市情報学部	都市情報学科												
	人間学部	人間学科		1			1							1
	外国語学部	国際英語学科												
	学部　合計		6	7	10	5	28	13	2	4	2	5	1	1

区分	課程・研究科		年次 1	2	3	4	合計	中国	台湾	ベトナム	インドネシア	バングラデシュ	韓国	インド
大学院	博士課程	法学研究科												
		経営学研究科	1				1						1	
		経済学研究科												
		都市情報学研究科												
		理工学研究科	1	2			3	2						1
		農学研究科												
		薬学研究科(4年制)	1		1		2				1	1		
		総合学術研究科												
	修士課程	法学研究科												
		経営学研究科		2			2		1	1				
		経済学研究科	1				1		1					
		人間学研究科												
		都市情報学研究科												
		情報工学研究科	1				1	1						
		理工学研究科	2	3			5	4		1				
		農学研究科												
		総合学術研究科												
	大学院　合計		7	7	1		15	7	2	2	1	1	1	1

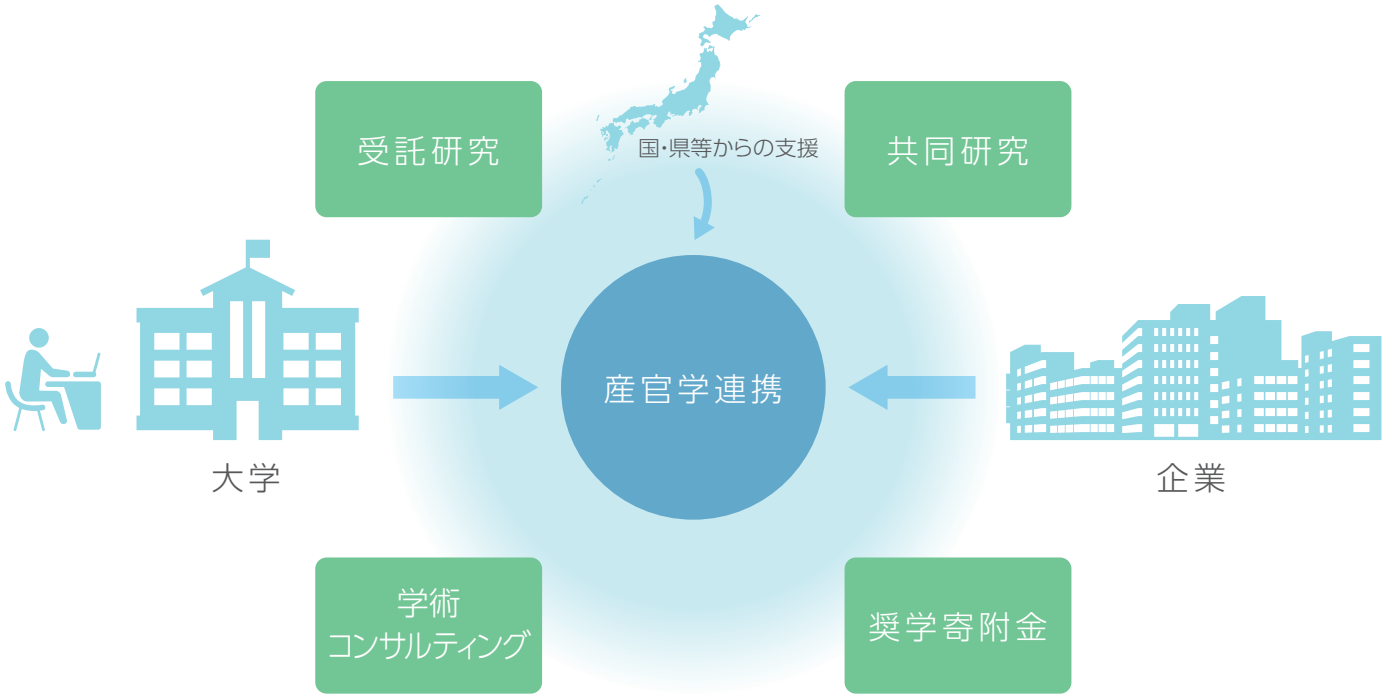
区分	学部・研究科		計	中国	台湾	ベトナム	ミャンマー	韓国	マレーシア	アメリカ	カナダ	ドイツ	イタリア	メキシコ
科目等履修生	学部	経営学部	11	2	4			5						
		経済学部	1					1						
		外国語学部	36	1	1	2	1	1	1	7	1	4	7	10
		人間学部	4	3				1						
		理工学部	2					2						
	科目等履修生　合計		54	6	5	2	1	10	1	7	1	4	7	10

産官学連携

名城大学における産官学連携

名城大学は、社会貢献を教育と研究に並ぶ大学の使命の一つとして位置づけ、産官学連携による社会貢献に積極的に取り組んでいます。名城大学の教育・研究で得られた知の成果を広く社会に還元し、我が国の産業の持続的発展及び文化の発展に寄与します。
本学は、10学部9研究科を擁する文理融合型総合大学であり、幅広い研究領域と研究シーズを備えています。

大学研究室が産業界の力になります。



受託研究
民間企業等から委託を受けて研究を実施し、成果を委託者に報告します。

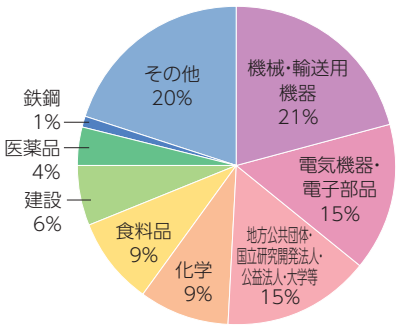
共同研究
民間企業等の研究者と共通の研究課題について、分担して研究を実施します。

学術コンサルティング
民間企業等から委託を受けて、教育・研究及び専門知識に基づいた指導や助言を行います。

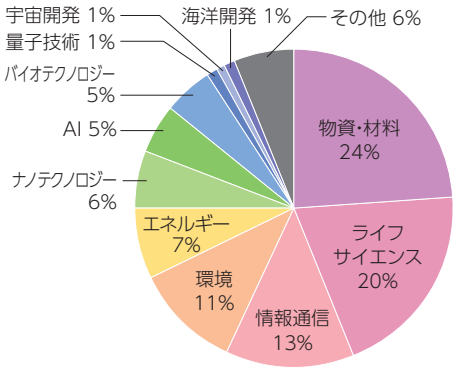
奨学寄附金
民間企業等から教育・研究を奨励する目的とする経費に充てるべきものとして受け入れ、指定の対象や目的に沿って使用します。

2025年度 産官学連携データ（2026年3月31日現在）

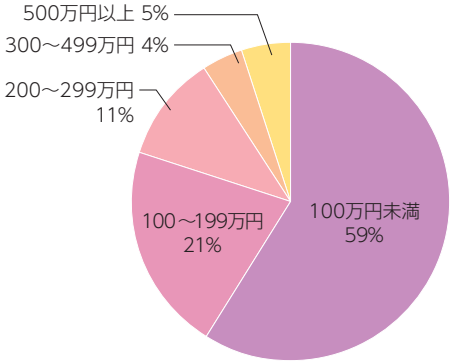
業種（企業数）



研究分野（研究課題数）



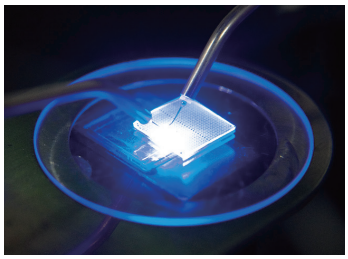
年間研究資金受入額



学術研究

LED共同研究センター

名城大学は青色発光ダイオード(青色LED)を発明し、2014年にノーベル物理学賞を受賞した故赤﨑勇終身教授・特別栄誉教授をはじめ、LEDに関する研究者により、数多くの研究成果を創出しています。
2011年4月、これまで蓄積した研究成果を広く社会に還元するため、「LED共同研究センター」を設立しました。
同センターでは、最先端の施設設備を用いて、新たな事業の開拓を狙う企業との共同研究や、LED関連技術の知見・ノウハウを習得することを目的とした企業への技術指導など、社会のニーズに対応する革新的な技術開発を行い、産官学連携による産業活性化の一翼を担う研究開発拠点として研究活動を推進しています。



特許保有件数

名城大学パテントポリシーを定め、研究成果の特許化を推進しています。本学では、特許をはじめとする知的財産権を、研究活動から創出された大学の重要な資産と位置づけています。これにより、研究者の創造的研究を促進するとともに、企業等へのライセンス活動を通じて、社会への技術移転を推進しています。また、特許化のサポートのため、URA(リサーチ・アドミニストレーター)を配置しています。

特許保有件数(2026年3月31日現在)

	件数
国内	217
海外	64
合計	281

学外研究資金データ

2025年度の名城大学における外部資金導入総額(国および民間企業等)は約9億5千6百万円です。
この中には各省庁実施事業の競争的研究資金制度等で採択された資金が含まれています。

用語説明

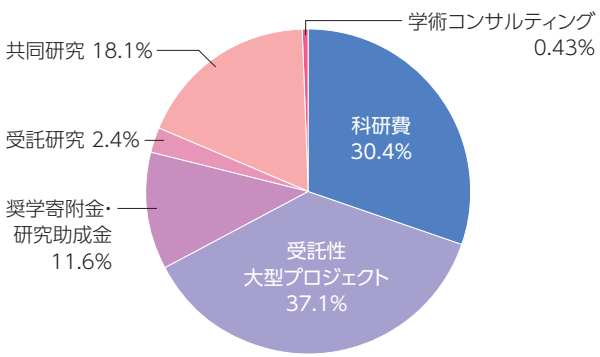
科研費……文部科学省および日本学術振興会が管理する学術研究を推進するための研究資金
受託性大型プロジェクト……各省庁等からの競争的研究資金制度および委託による研究
奨学寄附金・研究助成金……使用用途が、主として研究活動に指定された寄附金・研究内容の向上、達成を目的として支給される助成金
受託研究……民間企業等から受託して行う研究
共同研究……民間企業等から研究者および研究経費等を受け入れて、本学の教員が該当企業等の研究者と共通の課題について共同して行う研究
学術コンサルティング……民間企業等から委託を受けて、教育・研究および専門知識に基づいた指導や助言を行う

2025年度　研究資金データ

(千円)

研究資金種類	件数	金額
科研費(※1、4)	170	290,440
受託性大型プロジェクト(※1)	40	354,768
奨学寄附金・研究助成金	90	111,038
受託研究(※1、2、3)	27	23,223
共同研究(※1、3)	123	172,995
学術コンサルティング(※1)	13	4,104
合計	463	956,568

※1 間接経費、一般管理費を含む。
※2 受託事業を含む。
※3 LED共同研究センター利用を含む。
※4 件数は繰越、延長を含む。金額は繰越延長を含まない。



教育活動

FD(Faculty Development)(注) ～学生の主体的な学びを促す大学教育をめざして～

名城大学では、立学の精神「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」の実現に向けて、教員の教育力向上を図るため、大学等の授業の内容及び方法、並びに教育課程の改善を目的とした組織的な研修及び研究活動(FD: Faculty Development)を実施しています。
FD活動の推進体制は、大学教育開発センター委員会を中核として、各学部・研究科等のFD組織が連携する形で構築されています。大学教育開発センター委員会は、各学部・研究科等が主体となって行うFD活動を支援し、授業改善やカリキュラム開発等の取り組みを全学的に共有・促進することで、本学の教育の質向上を図っています。

注:FD(ファカルティ・ディベロップメント)とは、中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」(2012年8月)によると、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称とされています。単に授業内容・方法の改善のための研修に限らず、広く教育の改善、更には研究活動、社会貢献、管理運営にかかわる教員団の職能開発の活動全般を指すものとしてFDの語を用いる場合もあります。

入学前教育

一般選抜以外の合格者を対象に、大学生活への円滑な移行を支援する入学前教育を実施しています。入学前オリエンテーションでは、大学生活のスタートに向けた案内や学部ごとの説明を行い、入学前学習プログラム「MEC(Meijo Encouraging Program)」では、学習習慣の維持と基礎学力の向上を目的として、オンライン(DVD受講可)による学習を提供しています。プログラムは「プレテスト」「オンライン授業・演習」「課題提出」「添削結果の確認・復習」「アフターテスト」の5段階で構成されており、継続的な学習を通じて大学での学びへの円滑な接続を支援しています。

入学後学習支援

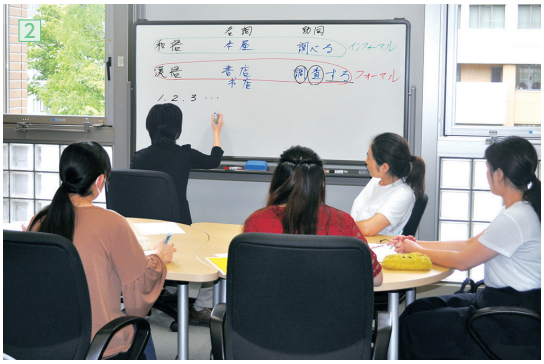
これまでも各センターにおいて、学生生活の支援・相談、進路選択・就職活動の支援・相談、課外活動に関する相談、健康支援・相談、留学および留学生の支援・相談等のさまざまな学生への支援活動を展開してきましたが、大学教育開発センターは、より豊かな学生生活の実現を目的として、2014年度から入学後学習支援として、「名城サプリメント教育」と「学習サポートルーム」を開設しました。

1 名城サプリメント教育

高校課程の復習機会を提供することにより、基礎学力向上および大学の授業の理解度向上を目的として開設しています。
現在は、学生のニーズに応え、対面実施からスタディサプリを活用したオンデマンド開講に移行し、学部・学科が指定した講座の中から、自分が苦手だと感じる講座を学生が選択して受講できるようになっています。

2 学習サポートルーム

学習の意欲や方法に関して特に問題を抱え、積極的かつ効果的な形で正課の学習に参加できていない学生を対象に、直面する諸問題を一緒に考え、解決をアシストすることを通して、学生自身が自立した学習の意欲、方法を身につけ、充実した学生生活が送れるようサポートすることを目的としています。
また、学習サポートルーム内限定で、スタディサプリを活用した学習も可能です。



出前講義

本学では、知的財産の地域社会への還元および社会的貢献に寄与することを目的として、教職員が地域に出向いて授業を行う出前講義を実施しています。出前講義は全学部が対象であり、広範なテーマでの授業が可能です。
地域の方々には生涯学習の機会提供として、また、高校生には高校卒業後の進路をどのような分野で学んでいくかを考える機会として大学受験のモチベーションづくりに役立てられ、実施のご要望を毎年数多くいただいています。
最新情報、申込方法等については、本学ウェブサイトにてご案内しています。

過去5年間の出前講義実施件数

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
高校	55件	60件	58件	66件	51件	49件
地域	9件	14件	20件	25件	21件	24件

飛び入学制度

17歳で大学入学・20歳で大学院入学も可能

理工学部数学科では、特に強い勉学意欲を持って努力することができ、数学およびその関連分野において研究・教育を志す高校2年生の課程修了者(満17歳)を対象とする「飛び入学制度」を導入しています。数学分野での飛び入学制度は全国初の試みで、これまで、大学院生、教員等社会人として卒業生を送り出してきました。入学後は、数学科の教育課程での学習により数学の理解を深めるとともに、各学生の個性と研究テーマを大切に育てていけるように、学生、教職員、一般市民の皆さんとともに、公開セミナーや小中学生向けの講座での体験を通して、主体的な学びをすすめています。また、大学院への飛び入学制度を利用すれば、20歳の時点で大学院への進学も可能となります。

これまでの入学者数

年度	2001～2026年度
人数	27人

〈卒業者の進路〉
・名城大学大学院　・国公立大学大学院
・高校教員　・一般企業

社会連携事業等

名城大学は、社会連携センターが中心となって大学と社会の資源をつなぎ、主体的に学び続ける「実行力ある教養人」の育成、「学問の探求と理論の応用」を通した研究成果の教育と社会への還元、社会との「人的交流」を通した地域活性化に貢献します。
ナゴヤドーム前キャンパスには、誰もが自由に使えるオープンコミュニケーションスペース「社会連携ゾーンshake」があります。学生・教職員だけではなく、企業・自治体・NPOなど多様な方が年齢・職業を超えてフラットに集い、交流し、情報や学びを共有する場として活用いただいています。
天白キャンパスにも、ものづくりを通した実践的な学びや多様なプロジェクトを行う場として「起業活動拠点ものづくりスペース　M-STUDIO」があります。新しいアイデアをカタチにする活動を通して、幅広い人々のクリエイティブな交流が生まれる場を目指します。

2025年度社会連携実績　319件※　※社会連携センターがコーディネートした社会連携件数のみ

【主な実績(一例)】

1 学外機関と連携した正課内授業、ゼミ・研究活動

・実務家講師による「食」をテーマとした製品・サービス開発講座イノベーションチャレンジプログラム（農学部正課授業）
・トヨタコネクティッド株式会社IT人材育成PBLプログラム（情報工学部正課授業）
・「昭和区防災・減災秋まつり」にゼミ生が考案した防災減災かるた等の企画を損害保険ジャパン株式会社と共同出展（経営学部ゼミ）
・コメダ珈琲店と連携した“いつものコメダだけど、ちょっと違うコメダ”「次世代のくつろぎ空間」創出プロジェクト（理工学部研究室）

2 学外機関と連携した学びの場づくり

・リーダーシップ開発プログラムiMPACT!（テーマ提供・協賛：株式会社ニチイホールディングス、アビームシステムズ株式会社）
・アントレプレナー（起業家）育成プログラムEXPLORER
・LINEヤフー株式会社と連携した学内ハッカソン「HackU名城大学」
・イノベーションを生み出すためのアイデア創出ワークショップ

3 学外機関と連携したプロジェクト開発

・名古屋ダイヤモンドドルフィンズとの連携による、これからのプロスポーツビジネスのあり方を探求する「プロスポーツビジネス研究会」
・長野県南木曽中学校との連携によるオンライン学習支援プロジェクト
・株式会社デンソー、有限会社名古屋工芸、刈谷市等産官学連携によるウォールアート制作プロジェクト
・日本出版販売株式会社、株式会社ひらく（文喫栄）との連携によるドーム前キャンパスでのシェア本棚「i am BOOKs MEIJO」プロジェクト

社会連携ゾーン shake
パートナーシップ団体数　200団体（令和8年3月31日時点）

学費・奨学金

学費一覧

学部(2026度入学生)

(円)

学年	1年次					2・3・4年次			
学部	入学金	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計
法学部	200,000	718,000	——	194,000	1,112,000	718,000	——	194,000	912,000
経営学部	200,000	718,000	——	194,000	1,112,000	718,000	——	194,000	912,000
経済学部	200,000	718,000	——	194,000	1,112,000	718,000	——	194,000	912,000
外国語学部	200,000	945,000	——	247,000	1,392,000	945,000	——	247,000	1,192,000
人間学部	200,000	730,000	——	247,000	1,177,000	730,000	——	247,000	977,000
都市情報学部	200,000	902,000	——	247,000	1,349,000	902,000	——	247,000	1,149,000
情報工学部	200,000	1,010,000	86,000	248,000	1,544,000	1,010,000	86,000	248,000	1,344,000
理工学部	200,000	1,010,000	86,000	248,000	1,544,000	1,010,000	86,000	248,000	1,344,000
農学部	200,000	1,008,000	86,000	291,000	1,585,000	1,008,000	86,000	291,000	1,385,000

(円)

学年	1年次					2・3・4年次				5年次				6年次			
学部	入学金	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計
薬学部	200,000	1,453,000	210,000	337,000	2,200,000	1,453,000	210,000	337,000	2,000,000	1,453,000	510,000	337,000	2,300,000	1,453,000	210,000	337,000	2,000,000

研究科(2026年度入学生)

(円)

学年		1年次					2年次				3年次			
研究科	課程	入学金	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計
法学研究科	修士課程	130,000	530,000	—	80,000	740,000	530,000	—	80,000	610,000	—	—	—	—
	博士後期課程	130,000	530,000	—	80,000	740,000	530,000	—	80,000	610,000	530,000	—	80,000	610,000
経営学研究科	修士課程	130,000	530,000	—	80,000	740,000	530,000	—	80,000	610,000	—	—	—	—
	博士後期課程	130,000	530,000	—	80,000	740,000	530,000	—	80,000	610,000	530,000	—	80,000	610,000
経済学研究科	修士課程	130,000	530,000	—	80,000	740,000	530,000	—	80,000	610,000	—	—	—	—
	博士後期課程	130,000	530,000	—	80,000	740,000	530,000	—	80,000	610,000	530,000	—	80,000	610,000
人間学研究科	修士課程	130,000	580,000	—	80,000	790,000	580,000	—	80,000	660,000	—	—	—	—
都市情報学研究科	修士課程	130,000	690,000	—	100,000	920,000	690,000	—	100,000	790,000	—	—	—	—
	博士後期課程	130,000	690,000	—	100,000	920,000	690,000	—	100,000	790,000	690,000	—	100,000	790,000
情報工学研究科	修士課程	130,000	640,000	120,000	100,000	990,000	640,000	120,000	100,000	860,000	—	—	—	—
理工学研究科	修士課程・博士前期課程	130,000	640,000	120,000	100,000	990,000	640,000	120,000	100,000	860,000	—	—	—	—
	博士課程・博士後期課程	130,000	640,000	120,000	100,000	990,000	640,000	120,000	100,000	860,000	640,000	120,000	100,000	860,000
農学研究科	修士課程	130,000	620,000	120,000	100,000	970,000	620,000	120,000	100,000	840,000	—	—	—	—
	博士後期課程	130,000	620,000	120,000	100,000	970,000	620,000	120,000	100,000	840,000	620,000	120,000	100,000	840,000
総合学術研究科	博士前期課程	130,000	700,000	—	100,000	930,000	700,000	—	100,000	800,000	—	—	—	—
	博士後期課程	130,000	700,000	—	100,000	930,000	700,000	—	100,000	800,000	700,000	—	100,000	800,000

(円)

学年		1年次					2年次				3年次				4年次			
学部	課程	入学金	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計	授業料	実験実習費	施設費	年額合計
薬学研究科	博士課程(4年制)	130,000	640,000	120,000	100,000	990,000	640,000	120,000	100,000	860,000	640,000	120,000	100,000	860,000	640,000	120,000	100,000	860,000

(注)1.入学手続時納入金は、入学金と1年次の「授業料・実験実習費・施設費」の2分の1の金額(前期分)を合計した額です。
2.授業料等の学費は、毎年次、前期(納期5月10日)・後期(納期10月10日)の2回分納方式です。

奨学生制度

名城大学学内奨学生制度は、成績上位者を対象とした「学業優秀型」、修学の意思があるにもかかわらず経済的理由により修学が困難な方を対象とした「修学援助型」等、さまざまな奨学生制度を用意し、学生をサポートしています。なお、学内奨学生制度はすべて給付制となっており、返還の必要はありません。

名城大学学内奨学生 ※各種奨学生制度は、事情により変更する場合があります。

1. 学業優秀にかかる奨学生(給付)

種類	資格	人数	給付額
入試成績優秀奨学生	一般選抜(A方式)において、各学部成績上位の合格者(対象者約500名※)の内、入学した者 ※対象者には、A方式合格通知書にてお知らせします。	対象者全員	授業料年額の1/2 (入学年度のみ対象)
学業優秀奨励制度	新3年次生で、2年次までの学業成績および人物優秀者 (薬学科は新5年次生で、4年次までの学業成績および人物優秀者) 成績基準:次の(1)および(2)に該当する者 (1)2年次までに62単位以上(教職および学芸員に関する授業科目、自由科目を除く。)を、修得している者 薬学科は4年次までに150単位以上を、修得している者 (2)履修登録科目の平均点が80点以上の者	260人	3万円相当の金品
学業優秀奨学生	新4年次生で、3年次までの学業成績および人物優秀者 成績基準:次の(1)および(2)に該当する者 (1)3年次までに93単位以上(教職および学芸員に関する授業科目、自由科目を除く。)を、 修得している者で、卒業見込みの者(薬学科を除く) (2)履修登録科目の平均点が80点以上の者	各学科で1人 (薬学科は2人)	授業料年額の1/2

2. 修学援助にかかる奨学生(給付)

種類	資格	人数	給付額
きたれ!創造型実学応援校友会奨学金	2027年度又は2028年度に名城大学に入学し、在学する者のうち、次の各号の全てを満たす者。 (1)3教科型A方式試験の合格者 (2)東海4県(愛知・岐阜・三重・静岡)を除く43都道府県のいずれかにある自宅から、名城大学に入学するために転居した者 (3)生計維持者と別居のうえ自宅外から通学する者	給付を受ける 資格のある者全員	月額3万円(年額36万円)
修学援助A奨学生 ※2022年度入学者までを対象とする	薬学部(5・6年次)で修学の意思があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者。 家計基準:同一世帯の前年度所得合計額から控除後の合計額が200万円以下とする。ただし、事業所得者の前年所得合計額がマイナスの場合は、0円として計上する。 成績基準:卒業に必要な単位数を修業年数で割った単位数の当該年次までの累計以上の修得者で、各学科の上位2分の1以内。ただし、外国人留学生の場合は、全学部外国人留学生の上位2分の1以内とする。	90人以内	年額一律30万円
修学援助B奨学生	学部生、大学院生で主たる家計支持者(学費負担者)の死亡、疾病、失業(自己都合を除く)、または、火災、風水害等の被害により家計が急変し、修学の意思があるにもかかわらず、経済的に著しく困難となった者。 家計基準:同一世帯の前年度所得合計額(学資負担者を除く)から控除後の合計額が200万円以下とする。ただし、事業所得者の前年所得合計額がマイナスの場合は、0円として計上する。 成績基準:学修意欲があり、学業を継続して確実に修了できる見込みがあること。	該当する者全員	年額一律30万円
利子補給奨学生 ※2025年度新規契約者までを対象とする	経済的な理由により、本学と提携する銀行(三菱UFJ銀行)の教育ローンを利用した者	該当する者全員	当該年度までの学費を限度とする借入額の支払利子に、教育ローン利用者の年収に応じた給付率(50%または100%)を乗じた額
大規模自然災害 経済支援奨学生	災害救助法が適用された(または外務省による国際緊急援助が行われた)大規模自然災害により家計が急変し、修学が困難になった学生および入学試験出願者。	該当する者全員	授業料・実験実習費・施設費の年額、または年額の1/2。入学試験出願者については、加えて入学検定料、入学金の全額。

3. その他の学内奨学生(給付)

種類	資格	人数	給付額
社会人学生奨学生	社会人入学試験により入学した学部生	該当する者全員	授業料および 実験実習費年額の1/2
私費外国人留学生A奨学生	在留資格が「留学」の私費外国人留学生で、経済的に就学が困難であると認められる者	該当する者全員	授業料年額の3/10
派遣交換留学奨学生	海外協定校との交換留学制度に基づく留学を認められた者で人物・学業成績優秀者、または各該当言語の語学能力検定試験高得点取得者。 留学期間が3か月以上1年以内を対象とする。留学期間が3か月未満の場合は海外研修奨学生として取り扱う。	30人以内	〔アジアへの交換留学〕 月額4万円 〔アジア以外への交換留学〕 月額6万円
海外研修奨学生	本大学の大学間学術交流協定(条件を満たす学部または研究科間を含む)に基づく海外研修者で、 研修期間が7日以上の者。ただし、人間学部の海外研修は除く。	該当する者全員	5万円
海外英語研修派遣支援 A奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者で、学部等の国際委員会が実施する選考により採用された者 ※海外英語研修プログラムとは、外国における本大学の大学間学術交流協定校(条件を満たす学部または研究科間を含む。)または国際化推進センターによる認定校で、主として英語能力の向上を目的とした学習を行うものを指す。	毎年180人以内	20万円または 研修費用総額の1/2の いずれか少ない額
海外英語研修派遣支援 B奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者 ※海外英語研修プログラムとは、外国における本大学の大学間学術交流協定校(条件を満たす学部または研究科間を含む。)または国際化推進センターによる認定校で、主として英語能力の向上を目的とした学習を行うものを指す。	該当する者全員	5万円
本学卒業等補助奨学生	(1)本学卒で研究科、他の学部へ入学する者 (2)本学に籍を置いた者で退学ののち、再度入学する者	該当する者全員	入学金の額
校友会奨学生	人物優秀者で学業成績または体育技能優秀者	校友会が指定	校友会が決定

各種奨学制度は、授業料および実験実習費の年額を超えない範囲で重複可能。
ただし、本学卒業等補助奨学生と校友会奨学生の特別奨学生は、授業料および実験実習費の年額の範囲を超えて重複可能。

4. 特に大学院生を対象とする奨学生(給付)

種類	資格	人数	給付額
赤﨑勇賞	名城大学大学院博士後期課程又は博士課程在学生のうち、教育研究活動等に関する業績が特に優れている者(理工学研究科においては博士前期課程又は修士課程も含める)	各年度5名 (理工学研究科から4名+ 理工学研究科を含む全研究科から1名)	一律20万円
長谷川士郎奨学金 (研究の推進)	博士課程在学者(ただし、博士前期課程在籍者及び留学生は除く)	申請資格を有する者 全員	博士課程授業料相当額
大学院学業優秀奨学生	大学院生で、学業成績および人物優秀者	90人	年額一律30万円
大学院奨学生	各研究科の基準による	各研究科の基準による	各研究科の基準による
本学卒業等補助奨学生	(1)本学卒で研究科、他の学部へ入学する者 (2)本学に籍を置いた者で退学ののち、再度入学する者	該当する者全員	入学金の額

各種奨学制度は、授業料・実験実習費・施設費の年額を超えない範囲で重複可能。
ただし、本学卒業等補助奨学生と校友会奨学生の特別奨学生は、授業料・実験実習費・施設費の年額の範囲を超えて重複可能。

クラブ活動

公認クラブ一覧 127団体 (2026年6月1日現在)

特別強化クラブ 2団体
硬式野球部
女子駅伝部

強化クラブ 5団体
アメリカンフットボール部
柔道部
バレーボール部
ハンドボール部
ラグビー部

準強化クラブ 10団体
應援團
(リーダー部、吹奏楽部、チアリーディング部)
剣道部
準硬式野球部
ヨット部
ライフル射撃部
管弦楽団
将棋部
エコノパワークラブ
蹴球部
バーベルトレーニング部

体育会 28団体
合気道部
居合道部
空手道部
弓道部
航空部
硬式庭球部
ゴルフ部
自転車部
自動車部
少林寺拳法部
水上競技部
スキー部
スキューバダイビング部
ソフトテニス部
ソフトボール部
卓球部
テコンドー部
軟式野球部
日本拳法部
馬術部
バスケットボール部
バドミントン部
フットサル部
舞踏研究会
洋弓部
ラクロス部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部

文化会 21団体
アカペラサークル「はもりね」
囲碁部
ギターアンサンブル部
ギターマンドリン合奏団
喫茶愛好会
教職研究会
軽音楽部
劇団「獅子」
茶道部
サブカルチャー研究会
児童文化研究会「かざぐるま」
シネマ研究会
証券研究会
新聞会
世界民族音楽研究会
旅研究会「一里塚」
美術部
放送部
漫画アニメSF研究会
モダンジャズ研究会
落語研究会

理工学部学生自治会 15団体
e-sports研究会
空手道部
建築デザインクラブ「tenon」
自動車技術研究会
社会科学研究会
写真部
ストリートダンスサークル
造芸部
鉄道研究会
名古屋学生の会
バドミントン部
フォークデュオサークル
マンガアニメ愛好会
木造建築研究会
ロボット倶楽部

農学部学生会 7団体
写真部
趣味の園芸愛好会
日本酒研究会
農学探究ゼミナール
ハイキング部
野生動物生態研究会
朝スポーツサークル

薬学部学生会【文化局】 15団体
英語会話同好会
SRC同好会
管弦楽部
漢方医学研究部
奇術部
軽音楽部
茶道部
写真部
植物研究部
ストリートダンス部
箏曲部
天文部
美術部
フォークソング部
薬学研究部

薬学部学生会【体育局】 12団体
硬式庭球部
硬式野球部
ゴルフ部
女子バレーボール部
ソフトテニス部
卓球部
男子バレーボール部
バスケットボール部
バドミントン部
フットサル部
ラグビー部
陸上競技部

ナゴヤドーム前キャンパス 12団体
音楽部「Bremen」
硬式庭球部
ダンスサークル「liberte'」
軟式野球部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
ハワイアン民俗研究部「Meijo オハナ」
フットサルサークル Golazo!
文芸サークル
まちと学生をつなぐサークル「Lプラネット」
写真部「Freude」

ボランティア協議会

ボランティア協議会は、名城大学の学生がボランティア活動を実践し、社会の一員として地域社会に貢献することを目的として2004年(平成16年)7月に発足しました。きっかけは一人の学生によるタバコの吸い殻拾い。この活動が徐々に広がり、学生のみならず教職員を巻き込んだ「クリーンアップ大作戦」へと発展、ボランティア協議会設立に至りました。現在は5つの活動を柱として活躍の場を広げています。

キャンパスと設備

天白キャンパス

法学部　経営学部　経済学部　情報工学部　理工学部　農学部
法学研究科　経営学研究科　経済学研究科　情報工学研究科　理工学研究科　農学研究科　総合学術研究科

タワー75は、高さ75メートル。遠くに町並みや山並みを見渡すことができ、キャンパスだけではなく、文字通り周辺一帯のランドマークとしてそびえ立ちます。天白キャンパスには、6学部に対する最新の教育・研究施設を設置。高度な教育研究環境となっています。

特徴ある施設等

開学100周年記念 LIONS ARENA（ライオンズアリーナ）

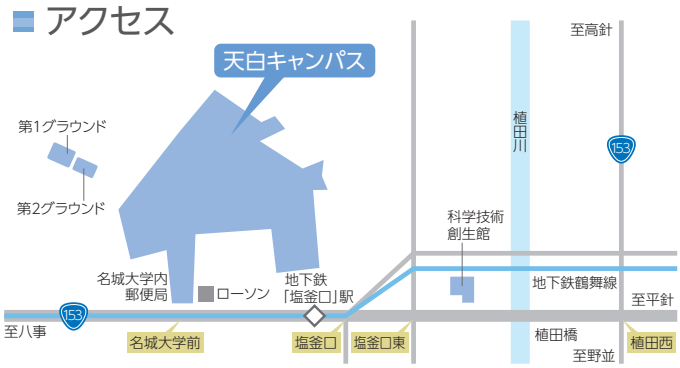
2026年2月に竣工、地上4階。
名城大学のシンボル・ライオン（勇気・誇り・探求心）の名を冠した地上4階建てのアリーナは、用途に応じてステージや観客席を自由に配置できるステージアム（Stage+Atadium）を採用するなど、「創造型実学」の精神を体現するさまざまな工夫を結集しています。球技や武道、演劇、ダンス、フィットネスから、会議やアクティブラーニングまで幅広い利用が可能で、使い方はアイデア次第。日常の授業やクラブ活動はもちろん、式典や学会、地域交流のイベントなど、学生・教職員・地域が共に学び共に創り出す「挑戦の場」から、未来へ向けた創造と変革を発信していきます。

キャンパスマップ

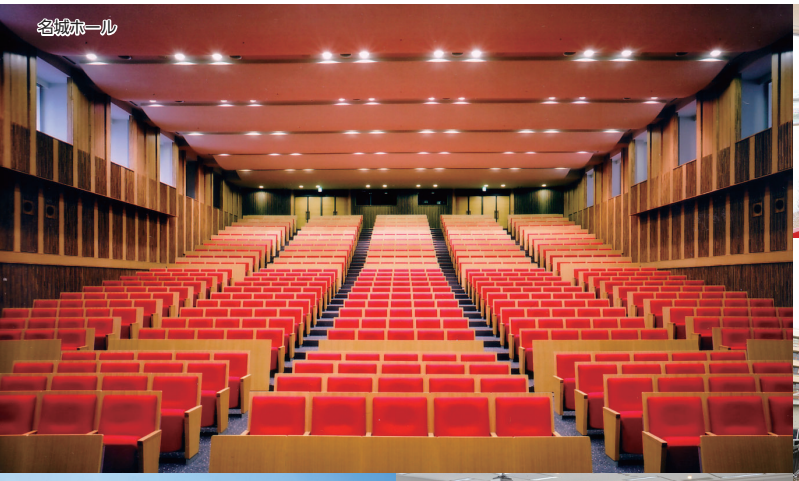
開学100周年記念 LIONS ARENA	メインアリーナ、フレックスハブ（サブアリーナ）、 マルチナ道場（多目的道場）、 モーションラボ（マルチスタジオ）、 ライオンズシアター、M-FIT（フィットネスセンター）
クラブハウス棟	クラブハウス
タワー75	情報処理教室・研究室・演習室・事務室・展望ラウンジ・ レセプションホール、そらいろラウンジ（食堂） パレット（食堂）、HoCotto（食堂）、スクエア（売店）、 GOOD IDEA! TERMINAL、ATMコーナー
共通講義棟南	講義室・ゼミ室・LL教室など
共通講義棟北	講義室・学生ホール・自習室・実験室・事務室 名城食堂（食堂）、ファミリーマート(売店)
共通講義棟東	講義室・情報処理教室・書庫
研究実験棟I	研究室・学生実験室
研究実験棟II	研究室、実験室、大型重量実験棟、事務室 ファミリーマート(売店)
研究実験棟III	研究室・学生実験室・事務室、ファミリーマート(売店)
研究実験棟IV	講義室・研究室・学生実験室・事務室
6号館	共同練習場、スガキヤ（食堂）、 グラン亭・ミラノ（食堂）
9号館	講義室・研究室
10号館	研究室、法学部資料室、経営学部・経済学部資料室、 アジア研究所
11号館	講義室・研究室・事務室

12号館	講義室・研究室・事務室
13号館	研究センター 総合学術研究科
本部棟	大学教育開発センター、保健センター、総合企画部、 総務部、渉外部、財務部、施設部、入学センター、 ちくさ正文館書店、ATMコーナー
校友会館	赤﨑・天野・吉野ノーベル賞記念展示室、 喫茶シャトー（喫茶室）、 喫茶Green Bakery BOOK CAFE（カフェ）、 理容室

アクセス



地下鉄鶴舞線「塩釜口／名城大学前」駅下車、1番出口徒歩約4分


名城ホール

展望ラウンジ

研究実験棟 II

共通講義棟東

共通講義棟南

情報処理教室

共通講義棟北

模擬法廷

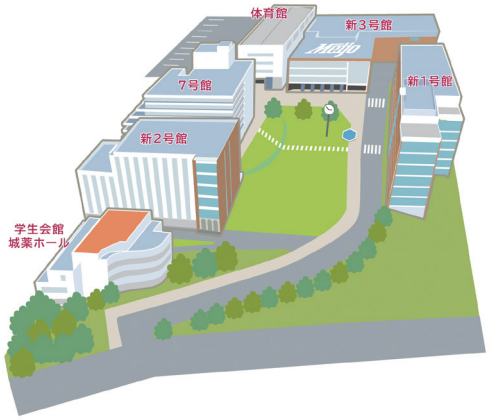
研究実験棟 III

キャンパスと設備

八事キャンパス　薬学部　薬学研究科

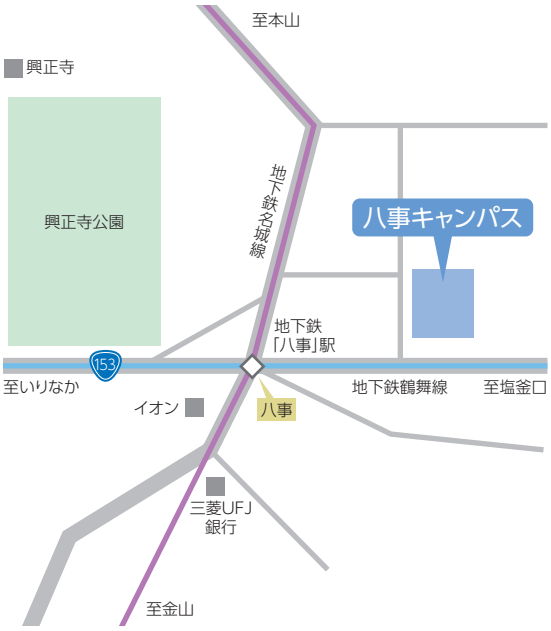
丘の上のキャンパスは東海地方で最も伝統のある私大薬学部。
半世紀を超える伝統と実績を生かし、薬学教育の理想を追求する。

キャンパスマップ



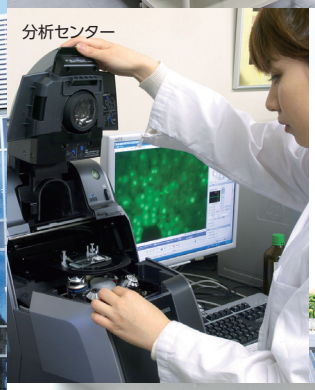
新1号館	附属図書館（薬学部分館）、モデル薬局、医薬情報センター 学生相談室、講義室、保健センター分室、事務室、 ダイニングハーブ（食堂）、ティー･コート（売店）、樹里庵（喫茶室）
新2号館	研究室、分析センター、実験動物施設、RI実験施設
新3号館	講義室、研究室、マルチメディア教室、ファミリーマート(売店)
学生会館城薬ホール	クラブハウス
7号館	実習用モデル薬局、分析センター第3分室、実習室、研究室

アクセス



地下鉄鶴舞線･名城線「八事」駅下車、6番出口徒歩約6分

モデル薬局


分析センター

新3号館

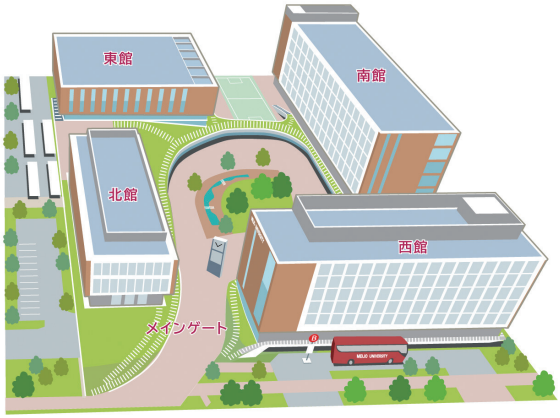
医薬情報センター

ナゴヤドーム前キャンパス

外国語学部、人間学部、都市情報学部　人間学研究科、都市情報学研究科

「キャンパスから地域へ、キャンパスから世界へ。」をコンセプトに2016年4月に誕生。
豊かな出会いと交流を生み出す開放的なキャンパスを実現しています。

キャンパスマップ



北館	M PATIO（食堂）、グローバルプラザ、ラーニングコモンズ、講義室、演習室、研究室
西館	事務室、社会連携ゾーンshake、レセプションホール、講義室、演習室、研究室、ゼミ室
東館	図書室、ファミリーマート(売店)、保健室、学生相談室、学習サポートルーム、マルチスタジオ、クラブハウス、体育館
南館	DSホール、多目的室、コンピュータ教室、講義室、研究室、ゼミ室

アクセス

JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅下車、徒歩約10分
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車、2番出口徒歩約3分
ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅下車、徒歩約5分

社会連携ゾーン shake

M PATIO

図書館

グローバルプラザ

キャンパスと設備

春日井(鷹来)キャンパス

農学部附属農場

春日井市の中央に位置して、13haの敷地のなかに作物・果樹・野菜・花畑や樹林、畜舎を有し、また、草花に覆われた築山、整備された芝生広場、グラウンドなど、やさしく、雄大な自然にあふれています。農学部実習農場および研究農場として使用され、新鮮な農産物の販売も行っています。

グラウンド等

周囲を保安林に囲まれたすばらしい環境の中で、3種程度の公認競技が可能という設備を誇る多目的グラウンド、全天候型テニスコート、屋外プール、野球場などの各種競技施設が併設された日進総合グラウンドをはじめとし、各グラウンドには複数のスポーツ施設が完備されており、多くの学生アスリートが日々の練習に励んでいます。

校地等現有面積(2026年5月1日現在)

校地	現有面積	校地	現有面積
天白キャンパス	128,006㎡	日進キャンパス	106,222㎡
八事キャンパス	17,553㎡	第1・第2グラウンド	46,331㎡
ナゴヤドーム前キャンパス	17,937㎡	クラブ寮敷地	1,514㎡
春日井(鷹来)キャンパス	136,860㎡	瀬戸校地(演習林)	31,795㎡
その他　校地	1,739㎡	可児校地(別法人に貸出中)	130,476㎡
総計　618,433(※2,535)㎡			

※は借用地を内数で示す。

附属図書館

知的空間としての学習・研究支援

附属図書館は「知」の発信拠点として本館と2つの分館で運営しています。
天白キャンパスにある本館は、地下1階地上5階建てで書庫、視聴覚室、グループ学習室、多読図書室、閲覧室、学習室、グループ研究室、メディア室等を配置しています。
八事キャンパスにある分館は、薬学の専門図書館としての機能を持たせるため、蔵書は薬学や医学の専門書を中心とした構成となっています。
ナゴヤドーム前キャンパスにある分館は、語学、教育学、都市情報学に関する資料を中心に取り揃えています。また、最先端の情報通信技術と機器を導入し、学習研究活動を支援しています。ラーニングコモンズ等、アクティブな学びができる環境も整えています。また、2022年度から全館でSDGsコーナーを設置し、学生、教職員がSDGsの課題を自らの問題として捉え、学びを深めていく環境を整備しました。
学術雑誌の電子化、電子書籍の普及等により、図書館を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。当館では、これら電子媒体と冊子体との共存共栄を図りつつ、利用者側の目線に立った魅力ある図書館づくりに取り組んでいます。

〈天白キャンパス〉

[休館日]
- 休講期(7月・8月・9月・1月・2月・3月)に日曜日、国民の祝日(分館を除く)
- 夏季および冬季の各休業日の一定期間
- その他必要に応じて定める臨時休館日

開館時間

館名	平日	土曜日	日曜日・祝日
本館・薬学部分館・ナゴヤドーム前キャンパス図書館（3館共通）	9:00～21:00	9:00～18:00	休館

蔵書冊数(2026年3月31日現在)

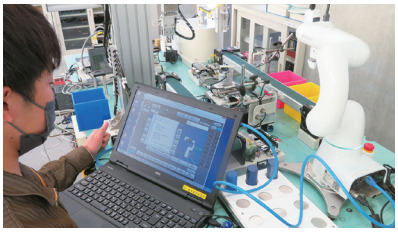
和書	洋書	合計
819,800	390,289	1,210,089

電子資料(2026年3月31日現在)

	タイトル数
電子ジャーナル	17,749
電子ブック	39,174

愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科

愛知県立愛知総合工科高等学校専攻科（2年制課程）は、愛知県が国家戦略特区の認定を受け、2017年4月から学校法人名城大学が指定管理法人となって運営している、全国初の「公設民営」の教育機関です。名城大学創設以来、取り組んできた工学教育の成果と学校経営のノウハウを最大限に活用し、機械、電気に関する高度な技術・技能を学ぶ“魅力ある学校づくり”を推進しています。



専攻科の教育目標

「ものづくり愛知」の次世代を担う、生産現場のリーダーとなる人材を育成する

専攻科の特色

指導する先生たち

講義
- 大学教員
- 専門科目指導者

＋

コース実習
- 専門科目指導者 ＋ 県派遣教員
- コース毎に必要な技術・技能の修得を目指す。資格取得のための要素実習を兼ねる。
- 県派遣教員

＋

総合実習
- 専門科目指導者 ＋ 県派遣教員
- 学科・コースの枠を越えてグループを組み、それぞれに研究テーマを設定し製作実習等を行う。

・講義科目では、高度な研究力を有する大学の教授陣から、技術者、技能者としての知見を広め、生産現場の実践力となる基礎的な理論、技術論を学びます。
・実習科目では、現代の名工、ものづくりマイスター、技能五輪メダリスト、技能五輪選手指導者など、社会から高い評価を受けている民間企業の生産現場で活躍する技術者・技能者から直接指導を受け、“ものづくり愛知”を支える高度な技術・技能とともに、生産現場で必要とされる創意工夫の方法論を学びます。
・コース実習・総合実習では、民間企業出身の生産現場で活躍する技術者・技能者の先生と愛知県教育委員会からの派遣教員のチームによる授業が行われています。

高度な技術・技能を身につける“特色ある実習教育”

教育課程は、実習科目の割合が40%を占めています。実習には、それぞれの科・コースをユニットとする“コース実習”と、科・コースの枠組みを超えて設定された研究テーマに基づく製作実習を行う“総合実習”を開設しており、生産現場の動向・ニーズに対応した実習プログラムにより、高度な技術・技能を身につけていきます。

最先端の設備・環境

最先端の実習設備を完備し、きめ細やかな指導が行われています。「若年者ものづくり競技大会」・「技能五輪」への出場・入賞、技能検定・資格取得を目指します。

学科・コース紹介

▶ 高度技術科（入学定員20名）

自動車・航空コース（入学定員10名）

自動車・航空機の構造や仕組み、自動加工技術など、運輸機械の製造に関わる高度な技術を身に付けた産業人材の育成を目指します。

電気・制御コース（入学定員10名）

発電や送電を行う電力システムや電気機器の制御技術など、電気エネルギー産業に関わる高度な技術を身に付けた産業人材の育成を目指します。

▶ 先端技術科（入学定員20名）

情報・ITコース（入学定員10名）

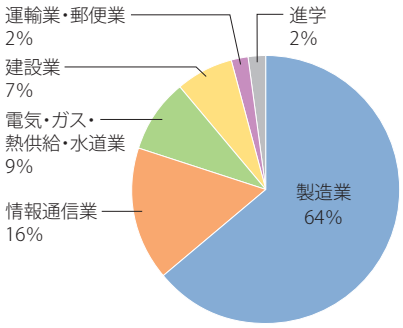
AIやIoTに代表される情報処理技術など、情報通信に関わる先端技術を身に付けた産業人材の育成を目指します。

電子・ロボットコース（入学定員10名）

半導体や電子回路基板、信号処理、ロボット技術など、生産現場のデジタル化に関わる先端技術を身に付けた産業人材の育成を目指します。

修了後の進路

令和7年度修了生（44名）



附属高等学校

【令和7年度入学生以前】普通科・総合学科（両学科とも男女共学）
【令和8年度入学生以降】普通科（男女共学）

教育目的

教育基本法・学校教育法の精神に則り、知・徳・体の調和する人格の完成を目指す。創設以来の伝統に基づき、穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する。

教育方針

「教育目的」を実現するために、更に次の3つの「教育方針」を定める。
1 礼節を重んじる　2 主体的な行動力を養う　3 多様な経験を積む

本校の特色

平成18年度～（通算21年目）
SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校
令和2年度～令和5年度
WWL（ワールドワイドラーニング）連携校
令和3年度～
SGH（スーパーグローバルハイスクール）ネットワーク参加校
平成26年度～平成30年度
SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校

文部科学省から様々な指定を受け、高大協創による国際的科学リーダーの育成やグローバルな社会課題を発見・解決できる人材の育成に取り組んでいます。

本校のあゆみ

1926	大正 15年	田中壽一氏により名古屋高等理工科講習所として開設
1928	昭和 3年	名古屋高等理工科学校に名称変更
1942	17年	名古屋市中村区新富町に校舎新築移転
1948	23年	学校教育法により名古屋文理高等学校として開校
1951	26年	名城大学附属高等学校と改称（設置学科：普通・商業・電気・機械）
1965	40年	1963年より始めた校舎の鉄筋工事完成
1978	53年	全館空調設備等総合整備完了　全天候型校庭舗装完工
1987	62年	開学60周年記念第二体育館（屋内温水プール）完成
1997	平成 9年	新校舎の完成
1999	11年	総合学科開設（設置学科：普通科・総合学科） 普通科特別進学クラスを共学化
2003	15年	普通科を共学化、高大一貫7カ年教育の普通科国際クラス設置
2004	16年	総合学科を共学化、全科男女共学となる 文部科学省主催　サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP） 「トライボロジーとその現代社会における役割」採択
2005	17年	文部科学省主催　サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP） 「人体の不思議と医療技術の進歩」「バイオテクノロジーを利用した作物育種」採択
2006	18年	文部科学省所管　スーパーサイエンスハイスクール（SSH）採択校となる
2010	22年	第一体育館兼武道場完成
2011	23年	スーパーサイエンスハイスクール（SSH）2期目の採択校となる
2012	24年	文部科学省コアSSH「地域の中核的拠点形成」に採択
2014	26年	文部科学省所管　スーパーグローバルハイスクール（SGH）採択校となる
2016	28年	スーパーサイエンスハイスクール（SSH）3期目の採択校となる
2021	令和 3年	スーパーサイエンスハイスクール（SSH）4期目の採択校となる
2025	7年	新第二体育館完成
2026	8年	総合学科募集停止 屋外プール完成

▶ 普通科

令和8年度より、総合学科の募集を停止し、普通科のみの募集となりました。また、普通科においても、これまでの4つのクラス区分による募集をやめ、一括募集へと移行しました。1年生は、全員が共通のベースカリキュラムを履修し、2年生からは、従来の普通科各クラス及び総合学科各系列での学習内容を包含した選択科目群の中から、それぞれの興味・関心や進路希望に応じた科目を選択して学びます。

また、本校が20年以上にわたり推進してきた探究活動を体系化した独自の「MJ科目」を3年間にわたって履修し、2年生からは各自が選択した「MJラボ（ゼミ）」に所属し探究活動を深めます。これらの学びを通して、名城大学が掲げる創造型実学にも通じる生徒一人ひとりが多角的な視点から課題を発見し、解決に必要な知識・技術・発想を結び付けながら、主体的に考え協働する力を身に付けます。

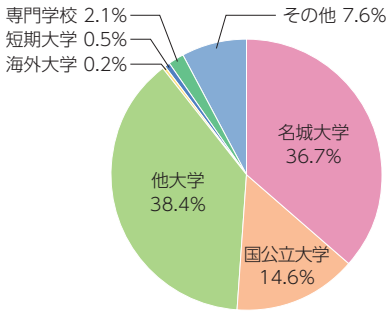
在籍者数

（人）

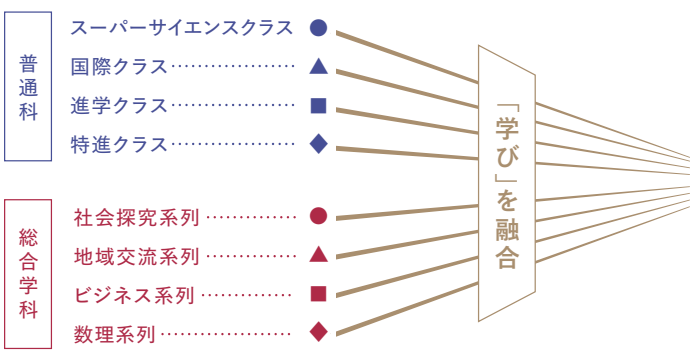
	普通科						計
1年	655						655（338）
	普通科				総合学科		計
	特進クラス	スーパーサイエンスクラス	進学クラス	国際クラス	文系	理系	
2年	144	33	318	34	95	26	650（323）
3年	186	29	334	27	94	30	700（361）

※（　）内の数字は学年毎の女子生徒数

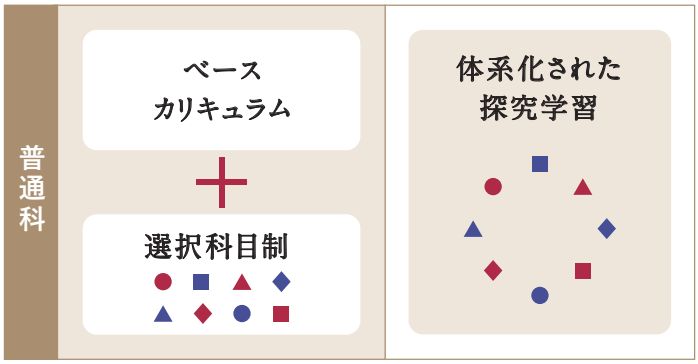
令和8年3月卒業生 実進路先 内訳（630名）



2025年度入学生以前



2026年度入学生以降【普通科のみ募集】



校友会

名城大学校友会

横の連携で後輩をバックアップ
卒業後もかたい絆で結ばれる38支部のヒューマンネット

名城大学校友会は、「会員相互の親睦と協力を基礎として、学術研究の奨励とその普及を図り、もって名城大学の発展に寄与すること」を目的として設立され、卒業生を会員、在学生を準会員、教職員を特別会員として組織されています。2026年3月末日現在、会員数は22万2千人を超え、日本国内に36支部、海外に台湾、タイの2支部、愛知県内には6つの市町村に卒業生の会を設置し、相互の連携と情報の交換に成果をあげています。さらに会員相互の連携を高めるため、ウェブサイトを設けてきめ細かい情報の発信に努めています。
また、全国各地で活躍する会員への支援、各同窓会事業への援助をはじめ、校友会報の発行や、特に準会員に対する援助として校友会独自の奨学生制度、学術・文化・スポーツ活動への援助や入学記念品・卒業記念品の配布等、幅広い活動を展開しており、地域とのつながりについても人的ネットワークの強みを発揮し、産官学各方面で活躍している数多くの卒業生会員が親身になって協力しています。
校友会ホームページでは、校友会の活動報告や卒業生の住所変更等を受けつけております。

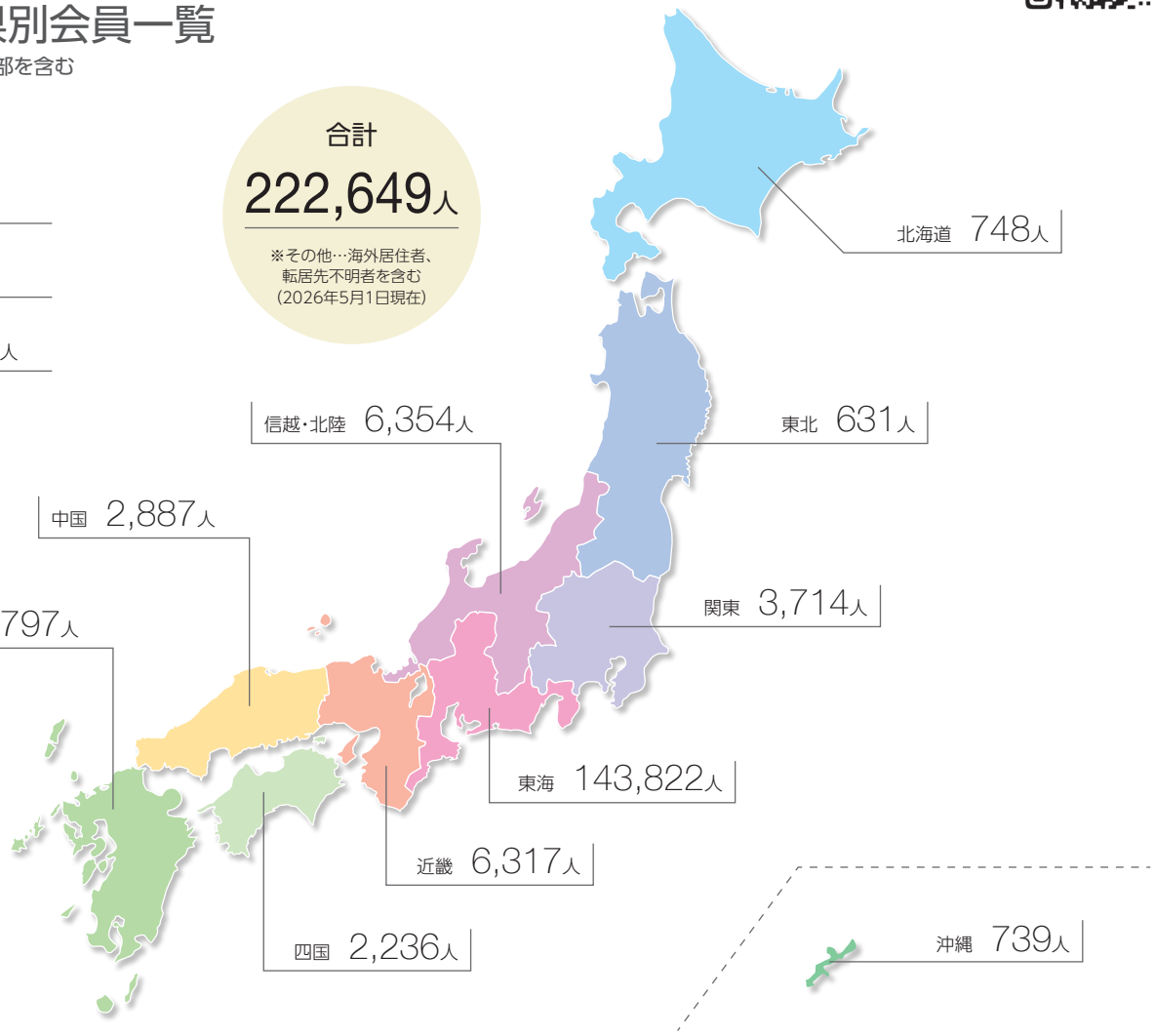
校友会HP

都道府県別会員一覧

台湾支部・タイ支部を含む

合計
222,649人
※その他…海外居住者、転居先不明者を含む
(2026年5月1日現在)

台湾 192人
タイ 30人
その他 52,182人



都道府県別会員数(台湾・タイ支部を含む)

(人)

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県
748	99	75	145	106	99	107	194	154	180	488	499	1,153	830	262	1,501	1,208
福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県
1,456	216	1,927	23,836	5,406	100,977	13,603	1,345	774	1,439	1,707	434	618	301	216	829	1,058
山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	台湾	タイ	不明その他	合計
483	686	594	574	382	771	239	395	287	354	289	462	739	192	30	52,182	222,649

交通案内

▶ 天白キャンパス

法学部　経営学部　経済学部
情報工学部　理工学部　農学部
法学研究科　経営学研究科　経済学研究科
情報工学研究科　理工学研究科　農学研究科
総合学術研究科

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
TEL 052-832-1151（代）

▶ 八事キャンパス

薬学部　薬学研究科

〒468-8503 名古屋市天白区八事山150番地
TEL 052-832-1151（代）

▶ ナゴヤドーム前キャンパス

外国語学部　人間学部　都市情報学部
人間学研究科　都市情報学研究科

〒461-8534 名古屋市東区矢田南四丁目102番9
TEL 052-832-1151（代）

▶ 春日井（鷹来）キャンパス

農学部附属農場

〒486-0804 春日井市鷹来町字菱ヶ池4311番2
TEL 0568-81-2169

▶ 日進キャンパス

日進総合グラウンド

〒470-0102 日進市藤島町長塚75番地
TEL 0561-73-0810

▶ 瀬戸校地

演習林

瀬戸市三沢町一丁目272番地

▶ 名城大学附属高等学校

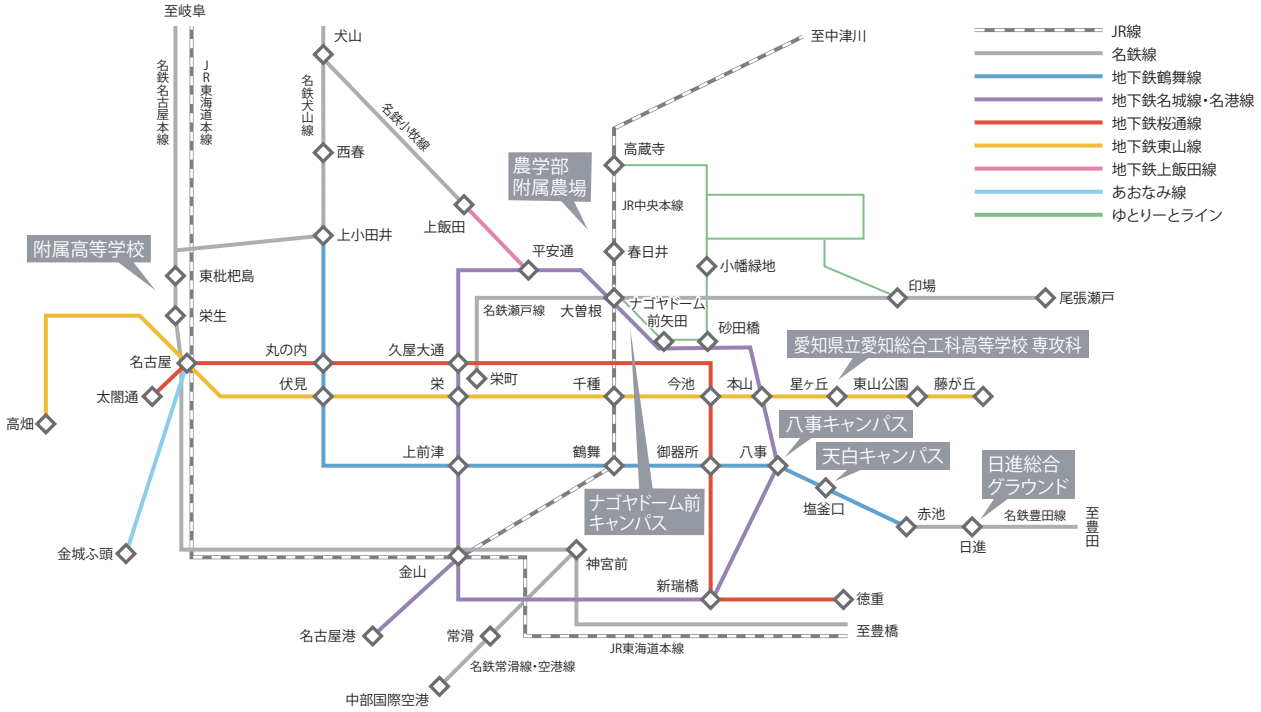
普通科

〒453-0031 名古屋市中村区新富町一丁目3番16
TEL 052-481-7436（代）

▶ 愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科

〒464-0808 名古屋市千種区星が丘山手107
TEL 052-788-7200

交通案内



天白キャンパス

▶ 地下鉄鶴舞線「塩釜口／名城大学前」駅下車、1番出口徒歩約4分

八事キャンパス

▶ 地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅下車、6番出口徒歩約6分

ナゴヤドーム前キャンパス

▶ JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅下車、徒歩約10分
▶ 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車、2番出口徒歩約3分
▶ ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅下車、徒歩約5分

春日井（鷹来）キャンパス〈農学部附属農場〉

▶ JR中央本線「春日井」駅下車、名鉄バス「小牧」行きで「総合体育館前」下車、北方向に徒歩約3分

日進キャンパス〈日進総合グラウンド〉

▶ 地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車、名鉄バス「五色園」行きで「五色園」下車、徒歩約10分

名城大学附属高等学校

▶ 名鉄名古屋本線「東枇杷島」駅下車、徒歩約5分
▶ 同「栄生」駅下車、徒歩約8分

愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科

▶ 地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車、2番出口徒歩約4分

MEIJO
UNIVERSITY

https://www.meijo-u.ac.jp/

発行：学校法人名城大学 渉外部 2026.07